


令和5年度
事業報告書

 社会福祉法人横浜市福祉サービス協会

横浜市新橋本一ム

<http://www.hama-wel.or.jp/office.shinbashi>

横浜市新橋ホーム令和5年度事業報告書 目次

1	所在地	P 1
2	利用定員	
3	施設理念	
4	管理運営基本方針	
5	職員の状況	P 2
	(1) 責任体制	
	(2) 職員体制	(別紙 1)
	(3) 職員会議等開催実績	(別紙 2)
	(4) 職員研修実績	(別紙 3)
6	特別養護老人ホーム	P 4
	(1) 入所者の状況	
	ア 入所者の年齢別・性別・介護度別の状況	
	イ 入所者の平均在所期間	
	ウ 入退所者数	
	エ 退所者内訳	
	オ 日常生活状況	
	(2) 入所者ケア	P 5
	ア ケア方針の作成状況	
	イ 排泄介助の実施状況	
	ウ 入浴の状況及び被服の着替え等に対する対応状況	
	エ リハビリテーション・クラブ活動等の実績	
	オ 給食実績	
	カ 医療・健康管理の実施状況	
	キ お客様や家族等との連携状況	
	ク 身体拘束廃止への取組状況	
7	養護老人ホーム	P 12
	(1) 入所者の状況	
	ア 入所者の年齢別・性別・介護度別の状況	
	イ 入所者の平均在所期間	
	ウ 入退所者数	
	エ 退所者内訳	
	オ 日常生活状況	
	カ 在宅サービス利用状況	
	(2) 入所者支援	P 13
	ア 支援計画作成状況	
	イ リハビリテーション・クラブ活動等の実績	
	ウ 給食実績	
	エ 医療・健康管理の実施状況	
	オ お客様や家族等との連携状況	
8	短期入所生活介護	P 21
	(1) 短期入所の利用状況	

(2) 短期入所における利用者へのサービス実績

9	通所介護	P 22
	※ 令和3年4月1日～休止中	
10	居宅介護支援	P 23
11	事故防止に対する対応状況	P 26
12	苦情処理実績	P 27
13	防犯、防災、緊急時の対応状況	P 28
14	近隣の他機関（福祉・保健・医療機関等）との連携	P 29
15	地域団体（町内会・地区社協等）との連携	P 29
16	個人情報保護の保護体制・取組実績	P 30
17	情報公開の取組実績	P 30
18	衛生管理への取組実績	P 30

<添付資料>

- ・組織図・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・別紙1

<別冊>

- ・令和5年度収支決算書

1. 所在地

横浜市泉区新橋町3番地

2. 利用定員

特別養護老人ホーム	42名
短期入所生活介護／介護予防短期入所生活介護	8床
養護老人ホーム	50名
通所介護／介護予防通所介護	19名／日（令和3年4月1日～休止中）

3. 施設理念

『お客様お一人おひとりの尊厳を尊重します。』

『在宅から施設までその人らしい暮らしを支援します。』

『地域に関かれ、地域に貢献できる施設運営を目指します。』

4. 管理運営基本方針

- (1) 横浜市新橋ホーム 指定管理者 業務基準に従い、「養護老人ホーム・特別養護老人ホーム」の運営を円滑に行います。
- (2) 横浜市指定管理の上で、地域の福祉拠点としての社会福祉法人・施設の役割を認識し、新橋ホームのもつ機能、専門性、建物等を最大限に活用し、地域福祉推進における施設の役割を果たします。
- (3) 福祉サービスを必要とするお客様が、地域において必要なサービスを総合的に提供されるように努めます。また、地域に即した創意と工夫を行い、地域住民等の理解と協力を得られるように努めます。
- (4) 地域の福祉拠点としての施設を目指します。また、「地域の中の施設」として地域福祉活動等に積極的に参加します。
- (5) 在宅サービスの実施に当たっては、単にサービス提供にとどまらず、サービスを通して、地域で発生している福祉課題の発見など、地域福祉の視点を常にもって行います。
- (6) 設備、機器等の地域への提供を行います。地域福祉活動の自主的ボランティアグループ等への会場の貸し出しや地域住民の自主的な在宅サービスの活動支援としての役割を果たします。
- (7) 専門性を生かした地域支援事業を行います。居宅介護支援事業の機能を生かし、地域に暮らす住民への相談や各種支援を行います。
- (8) 人材の養成、福祉教育の実施施設の役割を果たします。
 - ① 各職員の求められる専門性の追求のため、職員は常に自己研鑽に努め、必要な知識、技術を修得し、人間性の高揚を図ります。また、個々の職員の成長を図りながら、専門チームとしての力を発揮するようにします。

② ボランティア、大学、専門学校、社会人等の実習生の積極的な受入を行います。

(9) 地域の福祉推進機関としての役割を担います。

関係機関、団体との連携を積極的に図り、課題の解決に努めます。

(10) 災害時のための応急備蓄を行い、福祉避難所としての役割を果たします。

(11) お客様からのご意見、ご要望には真摯に対応します。

(12) 身体拘束は原則行いません。やむを得ず身体拘束を一時的に実施せざるを得ない状況が発生した場合には、身体拘束廃止検討委員会において十分に協議し、手順に従い適切に対応します。

(13) 常にコスト意識を持ち、無駄を省き、健全な運営、経営に努めます。

5. 職員の状況

(1) 責任体制

所長

所長は事業所の代表であり管理者として業務を統括します。。

職員

当法人の職員には、職員・パート職員などの雇用形態にかかわらず、下記のような一般社会人としての常識を備えることが求められます。

① 協会の一員としての自覚を持つ職員

組織目標を達成することを念頭に、職場における「相互理解・協調」のもと、責任感をもって「自らのより高い目標を達成すること」ができる職員

② お客様に信頼される職員

「お客様が第一」という姿勢を通じて、お客様との信頼関係を築くことができ、ひいては協会の発展に貢献するという意欲を持つ職員

③ 自ら考え行動できる職員

お客様や社会のニーズを的確に捉え、様々な課題を自ら見出し、広い視野とチャレンジ精神をもって解決に向けて主体的に行動できる職員

④当法人において職員は「協会運営をリードしていく者」「体制を維持する役割」「特定分野において、その豊かな経験と実績に基づき、業務を推進できる者」「将来の管理職候補としての育成スパンを持つ者」と定義して、法人本部が一括して採用・配置しています。

したがって、職員にはその職場で担当する職務を環境の変化に適応して、成果を出し続ける役割を期待されています。

⑤当法人においてパート職員は「一般的な知識と経験に基づく技能を用いて、職員の指示のもと、定常的な業務を遂行する者」「専門的・熟練的能力を具備し、職員の指示のもと業務にあたる者」と定

義をして、各事業所が採用・配置をしています。

したがって、パート職員には専門性が高く、特定もしくは特殊な技能・知識を駆使して、担当する職務をいかに正しく遂行するかという役割が期待されています。

(2) 職員体制

特別養護老人ホーム・短期入所生活介護・養護老人ホーム・通所介護（休止中）・居宅介護支援事業を一つの施設で行っているという多機能を最大限に生かすため、各部署が連携して、お客様のカンファレンスの実施や研修、新型コロナウイルス感染症対応について情報の共有やマニュアル整備等を実施しました。

別紙1 参照 横浜市新橋ホーム組織図

① 職員について

統括管理者である所長を除く職員は、所有する技能・経験・資格に応じて各部門に適正数を配置して、より質の高い業務遂行のため、常にリーダーシップを発揮して、成果を出していけるよう努めました。

② パート職員について

介護業務、看護業務の専門的知識や技能が求められる分野で適正数を配置することで職員の指示のもと、正確・迅速な業務遂行を可能としました。

6. 特別養護老人ホーム

(1) 入居者の状況 (令和6年3月末日現在)

ア 入居者の年齢別・性別・介護度別の状況

年齢	60歳未満	60～64歳	65～69歳	70～74歳	75～79歳	80～84歳	85～89歳	90～94歳	95～99歳	100歳以上	計	平均年齢
	人数	男	0	0	1	1	2	9	1	0		
	女	0	1	2	0	3	9	7	6	0	28	83
	計	0	1	3	1	5	18	6	6	0	42	82

介護度別状況	要介護1	1
	要介護2	0
	要介護3	6
	要介護4	18
	要介護5	17
	平均介護度	4.2

イ 入居者の平均在所期間

期間(年)	1年未満	1～3年	3～5年	5～10年	10年～	計	平均所在期間	
人数	男	4	4	1	5	0	14	3.5年
	女	6	7	5	9	1	28	3.8年
	計	10	11	6	14	1	42	3.6年

ウ 入退所者数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
1日現在の在籍者数	41	41	41	40	40	41	42	40	42	40	42	42	42
1日～末日までの退去者数	1	0	3	1	1	0	2	0	2	0	1	1	12
1日～末日の新規入居者	1	0	2	1	2	1	0	2	0	2	1	1	13

エ 退所者内訳

退居理由	家庭復帰	医療機関入院	医療機関入院中死亡	ホームで死亡	他施設へ転出	その他	計
人数	0	1	1	10	0	0	12

オ 日常生活状況

入居者数		42		区分		実数(人)	割合(%)		
歩行	自立歩行	1	2.4	排泄	昼間	便所	自分で可能	6	14.3
	杖等の歩行補助具使用	6	14.3			介助	12	28.6	
	車椅子使用	14	33.3		ポータブル便器	自分で可能	2	4.8	
	歩行不能	21	50.0			介助	0	0.0	
食事	自分で可能	21	50.0	おむつ使用		22	52.4		
	一部介助	9	21.4	夜間	便所	自分で可能	6	14.3	
	全面介助	12	28.6		介助	2	4.8		
入浴	一般浴利用	8	19.0	ポータブル便器	自分で可能	1	2.4		
	中間浴利用	12	28.6		介助	0	0.0		
	特別浴利用	22	52.4		おむつ使用		33	78.6	
着脱衣	自分で可能	5	11.9						
	一部介助	16	38.1						
	全面介助	21	50.0						
寝返り	自分で可能	12	28.6						
	一部介助	9	21.4						
	全面介助	21	50.0						

(2) 入居者ケア

ア ケア方針の作成状況

集計日	R6年3月末日現在	入居者数	入居者数
入所初回 ケアプラン数		13	78
既に作成した入所者数		78	0
ケアプラン作成がまだの入居者数		0	

(ア) 特別養護老人ホームにおける施設入退所に対する考え方

- ①「横浜市新橋ホーム入退所指針」に基づき、入所退所者の決定を行いました。
入退所指針は、入所の必要性の高い入所申込者を優先に入所させるため、入退所決定の透明性、公平性を確保すること並びに、より適切な介護サービスの提供を資することを目的に策定し、入所判定会議において決定を行いました。
- ②「新橋ホーム事業計画」に基づき、在宅部門と施設部門の連携が図れるという多機能施設の特徴を活かし地域に根ざした高齢者施設を目指すと共に、お客様やご家族様のご希望や状況を総合的に判断し、お客様を包括的に支援していくことで、入退所に関して柔軟な対応を行いました。

(イ) 特別養護老人ホームにおける利用者へのサービス提供について

2021年7月より、3グループ方式のケアを充実させ日中帯の少人数担当専属職員を定着常に細やかな心配りを行い、日常生活の中での気付きの目を持ち、お客様に心地よいケアを提供できるように、その人らしさを大切にプランの作成と、サービス提供を行いました。

また、2022年の11月からは、ノーリフティングケアを、より充実させるために移乗用リフトを導入し、お客様と職員双方にとって安全で安心なケアを行っています。

- ①年間計画に基づいたカンファレンスのみでなく、日勤でのカンファレンスを必要時開催し、お客様のニーズに即したプランを作成し、提供しました。
- ②新型コロナウイルス感染症対策を行いながら、ホーム内にて季節感のある行事の充実に努めました。
- ③生活環境を常に清潔に保ち、お客様の希望が叶うよう、個性的で心地よい生活空間が作れるよう配慮しました。
- ④栄養ケアマネジメントにより、お客様の食事に対する細やかなサービスの提供が行えるよう努めました。

(ウ) 職員の知識技術の向上を目指し、研修へ参加、所内勉強会の企画と実施、プロであることの認識と責任感を高めていくように努めました。

- ①新橋ホーム研修計画をもとに、外部講習会への参加、内部研修の実施を行い、知識・技術の向上を目指しました。
- ②専門職であることを自覚し、職員間で報告・連絡・相談を確実にし、チームで円滑なケアが行えるように努めました。

(エ) 広報紙を発行し、ご家族様や地域の方々にホームを知っていただくよう努めました。

(オ) ケア方針作成手順

- ①個別担当会議で介護職員のお客様担当が、お客様に対するケアの見直しを行いニーズを把握し、介護支援専門員と検討する。
- ②特養ケースカンファレンスにて、所長・介護職員・看護師・相談員・栄養士・介護支援専門員でニーズや課題について話し合い、ケア方針を決め、ケアの実施期間や評価日を決定する。
- ③②で提示されたケア計画をもとに、各職種で連携し、ケアを行なう。
- ④個別担当会議でケア内容の評価を行う。
- ⑤評価日以外にも検討が必要だと思われる際にも、検討を行う。
- ⑥カンファレンス予定表に沿って、半年後に再度新しい処遇計画を作成する。

イ 排泄介助の実施状況

		定期交換				定期交換以外時の対応状況 (どのようなときにどのような対応をしているか)	
		交換回数	交換時間				
おむつ交換	常時使用	9回	1時 10時~11時 16時	3時	5時 20時	7時 13時 23時	尿量の多いお客様や肌の弱いお客様には定時以外にもおむつ交換を実施しています。その他に、排泄形態や排泄用品の種類の検討を行い、お客様に合った排泄形態の検討をしています。
	夜間のみ使用	3回	20時	0時	5時		
体位交換	褥瘡者	9回	1時 10時~11時 16時	3時	5時 20時	7時 13時 23時	
	その他						

①排泄の自立を促すために取り組んでいるケア

- ・定時に加えて希望時に共同トイレに誘導、または、ポータブルトイレ介助行いました。
- ・常時おむつ使用の入居者に対しては、排泄パターンを把握し身体的に可能な限り、ポータブルトイレへの誘導、介助を行いました。
- ・お客様の状態に応じて、立ち上がりリフトを使用にてトイレへご案内しました。

②排泄介助の際のプライバシー配慮への取り組み

③オムツ交換：居室のドアを閉め、カーテンを閉めて行いました。

④ポータブルトイレ：仕切りカーテン使用しました。

⑤トイレ：トイレのドアを閉め、お客様の排泄中には介護職員は外で待機しました。

ウ 入浴の状況及び被服の着替え等に対する対応状況

入浴状況

		曜日	時間帯
一般浴	男性	火・土・水・日	13:30~16:00
	女性	月・火・水・木・金・土・日	13:30~16:00
中間浴	男性	火・水・土・日	13:30~16:00
	女性	月・火・水・木・金・土・日	13:30~16:00
特別浴	男性	月・火・水・金・土・日	10:00~11:00
	女性	月・火・水・木・金・土・日	10:00~11:00 13:30~16:00

(ア) 本人の事情により入浴日に入浴できない入居者への対応

- ・全身清拭を行いました。
- ・入浴可能となった場合、次の定期入浴日前もしくは次の定期入浴日に入浴行いました。

(イ) 行事等により入浴日に入浴できない入居者への対応

- ・行事の前後日に入浴日の振替を行い実施しました。
- ・基本的には行事は入浴日以外で行うように事前調整を行いました。

(ウ) 入浴時におけるプライバシーへの配慮

- ・性別で曜日と時間を変えて入浴を行い、脱衣所と洗身時にはカーテンで仕切り、胸部陰部にタオルを掛けて、肌の露出を少なくしました。
- ・同性介助を希望されるお客様には、同性の職員が介助を行いました。
- ・お客様のご希望により、個室浴での入浴の機会を提供しました。

(エ) お客様の被服の着替え、洗濯及び寝具の交換

- ・お客様の着替えについて、汚染時、入浴時、起床時、清拭時、発汗時に定期的もしくは適宜に着替えを行いました。
- ・被服の洗濯について毎日実施、寝具類の交換は、週1回行い、汚染時には随時交換を行いました。

エ リハビリテーション・クラブ活動等の実績

(ア) リハビリテーションの実施状況

種類・内容	実施回数	担当職員
足こぎ車いす 回想法	未実施 未実施 (1クール8回を2回実施)	介護職員 介護職員 生活相談員
両手を握る運動 シルバーカーやアシストウォークを使った歩行運動	未実施 未実施	介護職員 介護職員

(イ) レクリエーションの実施状況

名称	活動内容	実施回数	指導者の職種	備考
誕生会	お客様の誕生日を皆で祝う	不定期	なし	
外出レク	お客様個人の希望に沿った外出を行う	不定期	なし	
塗り絵等	塗り絵・間違いさがし	不定期	なし	
書道	書道を楽しむ	未実施	なし	
手芸	手芸を楽しむ	未実施	なし	
花火会	花火を楽しむ	未実施	なし	
体操・歌	昼食前に希望者を集めて行う	毎日	機能訓練指導員	
工作	工作活動	不定期	なし	
映画	映画鑑賞	不定期	なし	
外気浴	ホーム外周散策	不定期	なし	

(ウ) 年間行事実施状況

- ア. 毎月1回 おたのしみ食 入居者全員
イ. 毎月1回 健やか弁当 入居者全員

実施月	行事及び内容	参加人数	入居者負担金	備考
4月	誕生日会	4名	なし	
	洋品のたかだ	3名	あり	
5月	誕生日会	4名	なし	
6月	誕生日会	1名	なし	
7月	誕生日会	2名	なし	
8月	納涼祭	42名	なし	
	誕生日会	4名	なし	
9月	敬老式典	9名	なし	
	誕生日会	4名	なし	
10月	誕生日会	3名	なし	
11月	誕生日会	4名	なし	
12月	クリスマス会	42名	なし	
	誕生日会	6名	なし	
1月	誕生日会	5名	なし	
	餅つき	7名	なし	
2月	誕生日会	5名	なし	
	豆まき	42名	なし	
3月	誕生日会	6名	なし	
	お花見	1名	あり	

(エ) ボランティアの受入れ状況
(団体)

団体名	活動内容	延人数	回数	備考
				※感染対応のため実施できず。

(個人)

団体名	参加延人数	回数	備考
入居者の散髪	120名	年18回	※以下、感染対応のため中止

オ 給食実績

給食実施状況

①委託業者の有無

有 (業者名: エコーライフ株式会社) 無

②栄養量等の状況

	エネルギー Kcal	たんぱく質 g	カルシウム mg	ビタミンC mg	鉄
前年度の栄養所要量 (目標) 上記算出のための参考 データ-日本人の食事 摂取基準 (2020版)	1,500	60	670	100	6.5
前年度の栄養所要量 (実績)	1,521	62.4	725	164	10.4
今年度の栄養所要量 (目標) 上記算出のための参考 データ-日本人の食事 摂取基準 (2020版)	1,500	60	670	100	6.5

③入居者の1日あたりの食費単価

		一日あたりの単価 (円)	算 出 根 拠
今年度の予算単価		1,445円	食材料費+調理コスト
今 年 度 実 績	朝食	422円	
	昼食	522円	
	夕食	501円	
	おやつ	0円	
	合計	1,445円	

④特別食の状況

主食		副食		治療食	
種類	人数	種類	人数	種類	人数
全粥	12	軟菜	1	高脂血症食	0
5分粥	0	軟菜一口	4	糖尿病食	11
3分粥	0	手刻み	9	貧血食	0
おもゆ	0	ゼリー	12	濃厚流動食	3
粥ゼリー	11			腎臓食	0
パン	1			高血圧（心臓病含）	9
パン粥	1			胃潰瘍食	0
				低残渣食	0

⑤保存食の状況

保存時間	336時間	保存温度	-20度
------	-------	------	------

⑥非常食の備蓄状況

食数	138人	献立	<input checked="" type="checkbox"/> 有
	3日分		<input type="checkbox"/> 無

⑦嗜好調査の実施状況

	実施時期	対象人数	調査内容（項目等）
1	R6.2月	39人	日々の食事について

⑧残菜調査の実施状況

実施時期	調査内容（項目等）
毎食時	残菜の量、残菜の多かったメニュー

⑨食事・検食の実施状況

	食事時間	検食時間	検食実施者の職種
朝食	7:45~9:15	7:30	介護職
昼食	12:00~13:15	11:30	所長・栄養士・看護師・生活相談員・ 介護職・支援員・事務員
夕食	18:00~19:15	17:30	介護職

⑩献立等への嗜好調査、残菜調査や検食の結果の反応状況

材料・料理の分量の可否、食材の切り方や食材のメーカーの変更。調理方法の工夫を行いました。

⑪特別献立の有無

バイキング食	<input type="checkbox"/> 有（年・月平均・週 1回）	<input checked="" type="checkbox"/> 無
選択食	<input checked="" type="checkbox"/> 有（年）月平均・週 5回	<input type="checkbox"/> 無

⑫入居者の食事場所

	食堂	居室	その他
朝食	0人	0人	（各チームフロア）42人
昼食	0人	0人	（各チームフロア）42人
夕食	0人	0人	（各チームフロア）42人

⑬調理関係者の細菌検査実施状況

毎月1回から2回調理関係に関わる方の細菌検査を行いました。

カ 医療・健康管理の実施状況

(ア) 常勤・兼任(嘱託)医師の勤務状況

勤務の形態	診療科目	内科	歯科
	出勤時間	毎週月曜日	毎月2回火曜日
	時間帯	13:30~15:30	13:30~14:30
	医師の所属する医療機関の名称及び所在地	名称 湘南泉病院 所在地 横浜市泉区新橋町1783	名称 くぬぎ台歯科診療所 所在地 横浜市保土ヶ谷区川島町1404
勤務の形態	診療科目	精神科	
	出勤時間	毎月2回火曜日	
	時間帯	13:30~15:30	
	医師の所属する医療機関の名称及び所在地	名称 横浜相原病院 所在地 横浜市瀬谷区阿久和2-3-13	

(イ) 協力医療機関の状況

協力医療機関	(私営) 湘南泉病院
診療科目	内科・外科・整形外科・神経内科・消化器科・泌尿器科
	3km/車で10分
契約の有無	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
法人・施設との関係	<input type="checkbox"/> 有 () <input checked="" type="checkbox"/> 無

(ウ) 入居者の健康診断の状況

実施年月日	実施人数	備考
令和5年6月	42名	診察、尿検査、血液検査、肝機能検査、心電図、胸部レントゲン

(エ) 職員の健康診断状況

実施年月日	実施人数	備考
令和5年4・7・8月 令和5年9・10月 令和6年1・2・3月	43名	診察、問診、視力、聴力、BMI 胸部レントゲン、血圧、心電図 血液検査、尿検査

- ・ノロウイルス、インフルエンザ、MRSA、結核、疥癬等感染症の予防対策及び実施状況
感染症対策マニュアルを作成し、感染予防に努めました。
- ・ノロウイルス：嘔吐時の処理方法の確認・処理物品の確認、手洗い、うがいの励行。
- ・インフルエンザ：職員及び入居者に予防接種実施、手洗い、うがいの励行。
- ・MRSA：陽性者のケア後の手洗い、うがいの励行、入浴者の配慮。
- ・結核：年1回、または、受診時のX-p検査の実施。
- ・疥癬：感染者の個室対応、居室内の清掃の徹底、手洗いの励行。
- ・面会者に対する手洗い、うがいなどの周知・徹底。
- ・受診時の入居者に対するマスクの着用。

(オ) 衛生管理等状況

委員会等の設置 (感染症対策委員会等)	<input checked="" type="checkbox"/> 有 (名称 感染症対策委員会) <input type="checkbox"/> 無
感染症及び食中毒の予防及びまん延 の防止のための指針の整備	<input checked="" type="checkbox"/> 有 (名称 感染症対応マニュアル) <input type="checkbox"/> 無
研修の記録	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
取組の状況	
<p>新職員(パートを含む)を対象とした新任研修のカリキュラムの中で食中毒を含めた感染症防止のためのマニュアルの研修を実施しました。 また、全職員を対象に年2回研修を実施し、感染症及び食中毒の防止に向けた啓発を行い、施設内にポスターも貼り注意喚起を行いました。 年2回の感染対応シミュレーション研修(発熱時の一連の対応・嘔吐時の一連の対応)を実施しました。また、全職員を対象に年2回の研修にて、感染症及び食中毒の防止のための検討を行いました。 感染症対策委員会を毎月開催し、感染状況の把握や啓発活動の計画、マニュアルの見直しを</p>	

キ お客様や家族等との連携状況

(ア) お客様及び家族等の連絡状況

- ・お客様からの相談、苦情等には、話しやすい環境を設定し、真摯に対応しました。
- ・コロナ渦でもご家族とお客様が交流できるよう、窓越し面会・オンライン面会を実施しました。 ※ 別紙4 オンライン面会・窓越し面会ご利用件数 参照

(イ) お客様懇談会、家族懇談会の状況

家族懇談会	<input checked="" type="checkbox"/> 有 (3月 16日/記録 <input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無) <input type="checkbox"/> 無
投書箱・意見箱の設置	<input checked="" type="checkbox"/> 有 (設置場所 事務室受付の横に設置、特養デイコーナー) <input type="checkbox"/> 無
会報等の送付	<input checked="" type="checkbox"/> 有 (5月・10月・1月・3月) <input type="checkbox"/> 無

ク 身体拘束廃止への取組状況

- ・身体拘束等行動制限の廃止へ向けての取り組み状況
平成17年度4月1日に「新橋ホーム拘束廃止宣言」が制定され、心も体も拘束せず、尊厳をまもるケアを実施しています。
- ・毎月1回身体拘束委員会を開催し、研修等を行い、職員・パート含め身体拘束について理解を深めました。

・緊急やむを得ない場合に、身体拘束その他の行動制限を行う際の判定方法

判定機関の設置	<input checked="" type="checkbox"/> 有 (名称 身体拘束検討委員会) <input type="checkbox"/> 無
判定方法等定めた規定	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
身体拘束に関する入居者 家族の書面による同意	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
判定方法の手順	
<p>・ご家族より、やむを得ずお客様に対して拘束が必要との相談を受ける(介)(看) ・上記委員会を開催し、ご本人様の状況について検討した後、必要性について判断する。 ・ご家族様に連絡をとり、状況説明を行う。 「身体拘束に関する説明書」を作成し、了解を得た後、サイン、押印を頂く。</p>	

・緊急やむを得ない場合の身体拘束の計画

車椅子ベルト(Y字帯等)	0人
4点柵	0人
つなぎ服	0人
ミトン	0人
その他()	0人

- ・身体拘束その他の行動制限を行った場合、その後の取り組み状況
定期的に状態観察の記録記入を行い、日勤、月次のカンファレンスにて評価をします。
拘束が不要になった場合は速やかに廃止できるようにします。

7. 養護老人ホーム

(1) 入居者の状況（令和6年3月末日現在）

ア 入居者の年齢別・性別・介護度別状況

	～69歳	～74歳	～79歳	～84歳	～89歳	～94歳	95歳以上	計
男性	2	5	5	4	0	1	0	17
女性	3	5	7	4	7	5	1	32

平均年齢：79.0歳（男性：76.0歳／女性81.0歳）

最高齢： 男性90歳 / 女性95歳

介護度別	更新せず	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	未申請
人数	0	2	0	4	9	3	2	1	28

イ 入居者の平均在所期間

	1年未満	3年未満	5年未満	10年未満	10年以上
男性	2	4	1	6	4
女性	5	9	3	2	13

平均在所年数：6年8ヵ月

最長在所年数：20年11ヶ月

ウ 入退所者数

入所 7名

退所 5名

エ 退所者内訳

内訳）療養型病院への転院2名、入院中の逝去3名

オ 日常生活状況

入居者数		49人				排泄		実数(人)	割合(%)
区分		実数(人)	割合(%)						
歩行	自立歩行	27	55%	昼間	便所	自分で可能	44	90%	
	杖等歩行器補助器使用	13	27%			介助	0	0%	
	車椅子使用	9	18%		ポータブル便器	自分で可能	1	2%	
	歩行不能	0	0%			介助	1	2%	
食事	自分で可能	47	96%	夜間	おむつ使用		3	6%	
	一部介助	1	2%			便所	自分で可能	44	90%
	全面介助	1	2%		介助		0	0%	
入浴	一般浴利用	28	57%	ポータブル便器	自分で可能	1	2%		
	中間浴利用	21	43%		介助	1	2%		
	特別浴利用	0	0%		おむつ使用		3	6%	
着脱衣	自分で可能	28	57%						
	一部介助	19	39%						
	全面介助	2	4%						
寝返り	自分で可能	48	98%						
	一部介助	0	0%						
	全面介助	1	2%						

カ 在宅サービスの利用状況

訪問介護(予防含む)	14
通所介護(予防含む)	6
通所リハ	1
訪問リハ	3
福祉用具貸与	18
移動支援(障害サービス)	1

(2) 入所者支援

ア 支援計画作成状況

集計日	令和6年3月末日	入所者数	49人
作成した入所者			46人
見直しをした入所者			46人

※3名に関しては、R6年2月及び3月入所のため、R6年の4月及び5月に作成

(ア) 支援計画作成手順

- ・担当支援員が入居者にモニタリング等を行い、ニーズの把握を行いました。
- ・支援員がモニタリング、ケアチェック表（案）を作成し、生活相談員に提出しました。
- ・生活相談員がケアチェック表の確認を行い、ご本人と面接し、他職種（支援員、看護職、栄養士）と情報交換しながら、支援計画（案）を作成しました。またはご家族等や担当ケースワーカーに希望等の聞き取りを行いました。
- ・事例検討会において、所長、相談員（主任相談員を含む）、支援員（主任支援員を含む）、看護職、栄養士にて、支援計画（案）の検討を行ない支援計画を定め、実施機関・評価期間等を設けました。
- ・サービス担当者会議や退院時カンファレンス等には入居者本人に会議へ参加して頂き、ご自分の意見を直接話して頂きました。介護保険を利用されている場合にはケアマネジャーやサービス事業所にも参加して頂き、今後の支援方針について一緒に検討をしました。
- ・生活相談員から本人（またはご家族）に支援計画の説明を行い、同意を得ました。
- ・各職員が支援計画に基づき、支援を行いました。
- ・支援員がケア内容について、モニタリングを行い、日勤カンファレンスにて評価を行いました（所長・相談員・看護職・栄養士・ケアマネジャー）。また、状態の変化により必要時は支援計画の変更を行いました。
- ・入退院や事故・ヒヤリハット報告等で支援内容の検討が必要になった際には、適宜、日勤カンファレンスを行い、検討・立案を行いました。また、大幅に変更がある場合（入退院等）には、計画書を修正し、新たに作成しました。
- ・支援計画は年度で予定表を基に入居者全員（満床50名）の支援計画の検討や立案、評価を行いました。

(イ) 養護老人ホームにおける施設退所に対する支援の考え方

① 退所に向けた本人および家族への援助体制

- ・ADLの低下が見られる入居者に対しては、ご本人が今後どのような生活を望まれるかを確認し、ご家族にも今後についての意思確認を行いました。
- ・養護老人ホーム以外の生活の場が必要な入居者及びご家族には介護保険サービス利用の提案を行い、特養等の施設入所希望者には申し込み等の情報提供を行い、またそれに伴う必要な手続きの支援・代行を行いました。また、担当ケースワーカーや後見人にも情報提供を行い、連携を図りました。
- ・ご本人が在宅での生活を希望された場合には、担当ケースワーカーと連携を図り、在宅復帰が可能かどうかを検討し、必要な支援をしました。
- ・退所を検討する際に金銭管理等に不安があるご家族様には成年後見制度等の利用提案を行いました

(ウ) 退所に向けた居宅介護支援事業者との連携体制

- ・ご本人、ご家族より、介護保険サービスの利用等のご希望があった際には居宅介護支援事業者の紹介等の情報提供・連絡調整を行い、サービス利用に向けた支援を行いました。

(エ) 退所後におけるご本人・ご家族への援助状況

- ・他施設へ入所した場合は、他施設での生活へ円滑に移行できるようにご本人、ご家族の了解のもと、必要な情報提供を行いました。
- ・ご本人・ご家族及び担当ケースワーカーへの定期的な連絡を行ない、連携しながら、必要な支援を行いました。
- ・在宅復帰のケースについては、ご本人の状況把握に努め、区のケースワーカーと綿密な連携を図り、ご本人の了解のもと、住居エリアにある地域包括支援センターへの情報提供を行うなどの支援体制の整備に努めました。

イ. リハビリテーション・クラブ活動等の実績

(ア) リハビリテーションの状況

種類・内容	対象者の参加状況	実施回数 (月当たり)	担 当 職 種
朝の体操	15名程度。下肢筋力低下が見られる入居者および希望者。	毎日	支援員
脳トレ	15名程度。認知機能の維持向上を図る。朝の体操の時に実施。	毎日	支援員
嚥下体操	15名程度。朝の体操、転倒予防体操の際に実施。	毎日	支援員
転倒予防プログラム	15名程度。下肢筋力低下がみられる入居者および希望者	毎日	支援員
洗濯物たたみ	6名程度。有志。	毎日	支援員
玄関掃除	7名程度。有志。	平日 月・水・金	支援員

(イ) クラブ活動・レクリエーションの実施状況

名 称	活 動 内 容	実施回数 (月当たり)	参加人数 (延べ人数)	指導者の職種
手芸クラブ	手芸を楽しむ	月1回	35名	支援員
映画クラブ	映画を楽しむ	月1回	25名	支援員
園芸クラブ	植物を育て収穫を楽しむ	月1回	40名	支援員
書道クラブ	書道を楽しむ	隔月1回	24名	支援員
ウォーキングクラブ	近隣を徒歩で散策する	不定期	40名	支援員
買物レク	近隣のスーパーへの買物送迎・付添い	月1回	20名	支援員
誕生会	誕生日者をお祝いする	月1回	48名	支援員

※1下記の活動は終了

--	--	--	--	--

※2以下の活動は新型コロナウイルス感染症対策のため実施せず。

カラオケ会	カラオケを楽しむ	週1回	0名	支援員
マッスルクラブ	運動を行い身体機能の維持向上を図る	各月4回	0名	支援員
出張販売・喫茶	パン・おかし販売と喫茶	月1回	0名	外部団体(3)
コーラスクラブ	コーラスを楽しむ	不定期	0名	支援員

(ウ) 年間行事

実施年月日	行事名及び内容	参加人数			入所者負担の有無 及び負担金額	備考
		入所者	家族	地域等		
月1回	誕生会	50			無	
月1回	お楽しみ食	50			無	
月1回	健やか弁当	50			無	
月1回	茶話会	7~10			無	
月1回	園芸クラブ	5~8			無	
年6回	手芸クラブ	4~6			無	
月2回	映画クラブ	7~10			無	
年6回	書道クラブ	10~12			無	
随時	麻雀クラブ	4			無	
週4回	脳トレクラブ	10			無	
4月14日	施設内ゲーム大会	10				
4月27日	訪問衣類販売	25			購入物品は自己負担	
5月17日	外出レク(ズーラシア)	5				
6月1日	俳句大会(春)	10				
6月7日	外出レク(ズーラシア)	7				
5月26日	消防総合訓練	11			無	
6月20日	いなげや買い物レク	6			購入物品は自己負担	
7月11日	施設内ゲーム大会	10				
8月10日	盆供養会(迎え火)	5				
8月17日	盆供養会(送り火)	5				
8月4日	納涼祭	32	0		無	感染対策のため ご家族の招待は 中止
9月14日	敬老祝式典	48			無	
9月26日	外出レク(里山ガーデン)	7				
10月10日	外出レク(里山ガーデン)	3				
10月13日	外出レク(里山ガーデン)	4				
10月31日	消防総合訓練	20			無	
11月22日	調理レク(焼き芋)	35				
11月30日	俳句大会(冬)	8				
12月5日	フリーマーケット(無料)	30				
12月4日~	福祉作品展					
12月8日		5			無	
12月8日	買い物レク(イトーヨーカドー)	10			購入物品は自己負担	
12月25日	クリスマス会	40			無	
12月26日	もちつき	15			無	
1月1日	お正月・おみくじ	30				
1月12日	初詣	7				
2月2日	節分	20				
3月15日	花見レク(引地台公園)	7				
3月19日	花見レク(引地台公園)	6				
随時	お客様の希望により、近隣への散策など 季節に応じた外出機会を提供					
※以下は新型コロナウイルス感染症対策のため実施せず						
月1回	岡津サロン	0			参加費は自己負担	
	家族交流会	0			無	
	彼岸供養会	0			無	
		0				

(エ) ボランティアの受入れ状況

① 団体

団体名	活動内容	回数	備考
洋品のたかだ	衣類販売	年2回	購入は自己負担
わいわいクラブ	パン・おかし販売・喫茶	月1回	感染対策および施設内感染の影響あり、今年度は1回実施。購入は自己負担
平戸獅子舞	獅子舞披露	年1回	新型コロナウイルス感染症対策のため行事規模の縮小、中止のため受け入れが中止
戸塚高校	納涼祭手伝い	年1回	
泉美野太鼓	和太鼓演奏	年1回	
緑園社協	歌・舞踊・演奏	年1回	
アロハサウンズ	ハワイアンの歌と演奏	年1回	
くすのき保育園	園児の歌と踊り	年1回	
ミューズ	フルート・ハーブ演奏	年1回	
とみんのメガネ	眼鏡の修理・調整	年2回	
傾聴ボラモモ	傾聴	月4回	今年度は1回実施。感染症対策のためオンラインにて実施

② 個人

活動内容	回数	備考
入居者の散髪・美容師	月2回	1回につき1500円(美容師は2000円)自己負担
ハーモニカボランティア	月1回	新型コロナウイルス感染症対策のため受け入れ中止
ピアノボランティア	月1回	
麻雀ボラ	週1回	
ともちゃん体操	月1回	

ウ. 給食実績

① 委託業者の有無

■ 有 業者名：エコーライフ株式会社

② 栄養量等の状況

	エネルギー kcal	たんぱく質 g	カルシウム mg	ビタミンC mg	鉄
前年度の栄養所要量（目標） 上記算出のための参考データ 日本人の食事摂取基準（2020年版）	1,500	60	670	100	6.5
前年度の栄養所要量（実績）	1,500	61.8	676	138	9.9
今年度の栄養所要量（目標） 上記算出のための参考データ 日本人の食事摂取基準（2020年版）	1,500	60	670	100	6.5

③ 入所者の一日あたりの食費単価

		一日あたり単価（円）		算出根拠
今年度の予算単価		1445円	円	
今年度実績	朝食	422	円	
	昼食	522	円	
	夕食	501	円	
	おやつ	0	円	
	合計	1445	円	

④ 特別食の状況

主食		副食		治療食	
種類	人数	種類	人数	種類	人数
全粥	17	軟食	15	高脂血症食	1
5分粥	0	刻み食	6	糖尿病食	3
3分粥	0	ミキサー食	0	貧血食	0
おもゆ	0	ゼリー食	1	濃厚流動食	0
粥ゼリー	1			腎臓食	0
				高血圧食	19
				低残渣食	2

⑤ 保存食の状況

保存時間	336 時間	保存温度	-20度
------	--------	------	------

⑥ 非常食の備蓄状況

食数	138 人分 3 日分	献立の有無	有
----	----------------	-------	---

⑦ 嗜好調査の実施状況

実施時期	対象者	実施項目
令和6年2月	46人	日々の食事について

⑧ 残菜調査の実施状況

実施期間	調査内容（項目等）
毎食時	残菜の計量

⑨ 食事・検食の実施状況

	食事時間	検食時間	検食実施職員
朝食	7:45~9:15	7:30	介護職・支援員
昼食	12:00~13:15	11:30	所長・栄養士・看護職・生活相談員・事務員・介護職・支援員
夕食	18:00~19:15	17:30	介護職

- ・献立等へ嗜好調査、残菜調査や検食の結果の反映状況
- ・材料・料理の分量の可否、食材の切り方の変更、
- ・嫌いな方が多い食材の使用回数を減らす、個人代替食の設定を行いました。

⑩ 特別献立の有無

バイキング食	無	(年0回)
選択食	有	(年5回)

⑪ 入所者の食事場所

	食堂	居室	その他
朝食	48人	人	コロナ感染対応時は居室配膳となる
昼食	48人	人	コロナ感染対応時は居室配膳となる
夕食	48人	人	コロナ感染対応時は居室配膳となる

⑫ 調理関係者の細菌検査の実施状況

- ・毎月1回から2回、調理関係に関わる方の細菌検査を行ないました。

工. 医療・健康管理の実施状況

① 入所者の診療状況（令和6年3月分）

	施設医務室における診療				他の医療機関における診療			
	診療総数		そのうち保険請求を伴う診療		入院		通院	
	実員数	延診療日数	実員数	延診療日数	実員数	延診療日数	実員数	延診療日数
内科系疾患	32	3	32	3	0	0	3	3
外科系疾患	0	0	0	0	0	0	1	1
精神科	23	2	23	2	0	0	0	0
歯科	8	2	8	2	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0	10	10
計	63	7	63	7	0	0	14	14

② 入所者の健康診断の状況（令和5年度）

実施年月日	実施人数	検査内容	備考
令和5年6月30日	47名	問診・尿検査・血液検査・心電図・胸部レントゲン・身長・体重測定	
令和6年1月24日	43名	問診・尿検査・血液検査・身長・体重測定	

③ 職員の健康診断状況（令和5年度）

実施年月日	実施人数	検査内容	備考
令和5年7～9月	20名	診察・問診・視力・聴力・BMI・胸部レントゲン・血圧・心電図・血液検査・尿検査	
令和6年1～3月	11名 夜勤勤務者	診察・問診・視力・聴力・BMI・胸部レントゲン・血圧・心電図・血液検査・尿検査	

④ 衛生管理

委員会の設置	有	感染症対策委員会
感染症及び食中毒の予防及びまん延の防止の為に指針の整備	有	感染対応マニュアル
研修の実施	有	年3回（研修記録有）
<p>取組状況</p> <p>①「手洗いチェッカー実技研修」</p> <p>②厚生労働省の介護職員のための感染対策マニュアル施設系の穴埋め問題</p> <p>③「集団給食施設の食品衛生に関すること」の紙面研修</p> <p>④「ノロウイルス食中毒を防ぐために」の紙面研修</p> <p>⑤「新型コロナウイルス感染症 発熱者発見時の初動（ガウンテクニック等）」のシミュレーション研修</p> <p>・感染対策委員会を毎月開催し、新型コロナウイルス感染症の最新情報の共有を行い、啓発活動の計画やマニュアルの見直しを行いました。</p>		

オ. 入所者や家族等との連携状況

① 入所者及び家族等からの要望及び相談状況（相談内容のうち多いものを3つ）

	要望及び相談内容	左記の要望及び相談内容を受けた機会	施設としての左記に対する対応状況
入 所 者	食事の献立、味付けについて	お客様アンケート 嗜好調査 給食委員会	アンケート結果から、調理法だけでなくメニューについても特別食に反映する、日々の献立に組み込む等、ご要望に沿えるように対応している。令和5年度はメニューの内容や味付けについての意見が複数出ており、給食会議にて随時対応を検討している。
	外出について	入居者からの相談	感染症対策を行いながら、範囲を縮小して実施。外出時のマスク着用帰所後の手洗い、うがい、消毒の協力をお願いしている。外出範囲については途中で見直しを行い、近隣まで広げている。公共交通機関も使用可としている。また、ご家族様との外出については個別対応を行っている。
	面会について	入居者からの相談	館内面会、窓越し面会、オンライン面会の3つを実施していることを説明し、ご家族への連絡もしていることを説明した。また、ご家族様へ連絡し面会調整も行っている。お客様から面会の調整を依頼されたこともあった。オンライン面会では複数の面会者を同時に行うこともあった。
家 族 等	面会、外出について	ご家族からの電話	館内面会、窓越し面会、オンライン面会の3つを実施していることを説明し、ご利用いただいている。御家族様との外出については年末年始に泊りを含む外出を実施した。外出については個別対応を実施している。
	施設内の感染状況について	ご家族からの電話	抗原検査等で陽性者が出た場合にはご家族や後見人へ電話等で連絡している。また、電話があった場合にはその都度状況をお伝えしている。

※別紙 オンライン面会・窓越し面会ご利用件数 参照

② 入所者懇談会、家族懇談会等の実施状況

入所者懇談会	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	1 回/週 毎週月曜日に実施
家族懇談会	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	1 回/年 3月に実施 ※新型コロナウイルス感染症対策により実施せず
投書箱・意見箱の設置	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	設置場所：正面玄関・2階デイコーナー・2階散髪コーナー
会報等の送付	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	

8 短期入所生活介護

(1) 短期入所の利用状況

年 月	要介護度別請求実績人数							平均 要介護度
	支援1	支援2	1	2	3	4	5	
R4年 4月	1人	0人	3人	5人	10人	4人	1人	3.00
5月	0人	1人	2人	6人	11人	3人	2人	2.90
6月	0人	1人	0人	5人	8人	6人	1人	3.00
7月	0人	0人	0人	5人	9人	5人	3人	3.10
8月	0人	2人	1人	6人	8人	3人	2人	2.90
9月	0人	2人	0人	5人	5人	4人	3人	2.90
10月	0人	1人	2人	7人	6人	3人	4人	3.00
11月	0人	1人	1人	6人	7人	2人	5人	3.10
12月	0人	1人	1人	3人	15人	2人	4人	3.00
R5年 1月	0人	1人	2人	3人	11人	2人	3人	2.70
2月	0人	1人	1人	2人	9人	3人	4人	2.80
3月	0人	0人	1人	3人	8人	2人	5人	3.10
	1人	11人	14人	56人	107人	39人	37人	2.96

(2) 短期入所における利用者へのサービス実績

ア 短期入所における受入れ体制

- ①ショートステイをご利用になるには、担当ケアマネジャーから利用月の3ヶ月前から申し込みを受け付けました。
- ②申し込み書類による申し込み前に、お客様の体調、ADLや、生活状況、在宅サービスの利用状況医療情報などの必要情報を聞き取り、送迎サービスを希望されるか、個室を希望されるかなどのお客様のご希望も確認した上で、利用へとつなげ、満足いただけるサービスとなるよう努めました。
- ③医療行為が必要な方（夜間は看護師が不在のため）や、重度の認知症がある方（認知棟ではない為徘徊は応相談）などの受入れに関しては、検討した上で受入っていくかを決定し、また、多床室が中心（個室は2部屋のみ）の施設のため、感染症に関しては入所申し込みの際に、有無が分かる資料の提出をケアマネジャーの方々にご協力頂きました。
- ④他の在宅サービスの利用や、ショートステイが初めてのお客様には2泊からのお試し期間を設けて、徐々に慣れていただけるようにしました。

イ 短期入所における利用者へのサービス提供について

- ①短期入所生活介護では、可能な限り居宅において、その有する能力に応じて自立した日常生活上がおくれるような介護支援を提供しました。
- ②居宅サービス計画に沿って「短期入所生活介護計画」を作成し、計画的にサービス提供しました。
- ③介護老人福祉施設、居宅介護支援事業所、養護老人ホームと連携し、「在宅から施設まで」をモットーに各部署との連携し、お客様やご家族の多様なニーズに対応しました。
- ④ショートステイのお客様のデイレクリエーションの参加や、各担当ケアマネジャーとの担当者会議への出席など、お客様のニーズにあった快適なショートステイ期間となるよう援助に努めました。
- ⑤在宅サービスと施設サービスの連携をとり、お客様に安心してお過ごしいただけるように努めました。

9 通所介護（通常型）

※ 令和3年4月1日～休止中

令和3年4月1日からの通所介護事業休止届の提出と経過について

ア. 休止届出に至る経過

数年前より、近隣に通所介護事業所が増えたことによる利用者獲得が厳しくなってきたこと、スタッフの曜日、職種別確保と配置が厳しくなってきたこと等により、大幅な赤字経営となり、新橋ホーム全事業の収支状況を圧迫するようになりました。また、デイルームが施設中央部分に位置し、スペースが狭く、浴室も特養・短期と併用利用しなければならぬ等、運営上も課題が多くありました。

令和2年度には、新型コロナウイルス感染症拡大により、一時は、一日のご利用人数を一日12名程度までにしなければ密を避けられない状況もあり、自ら感染を恐れご利用を控えるお客様とも重なり、ご利用人数はさらに減少しました。

このような状況を踏まえ、令和3年4月1日からの事業休止について横浜市に相談し、健高施第2771号 令和2年12月16日付、「コロナ禍にもあり、休止はやむを得ない。利用者の介護サービスの低下を招かないよう最大限の配慮を行うよう」回答がありました。横浜市健康福祉局介護保険指課に、令和3年4月1日～9月30日までの間の休止届を提出し令和3年2月18日付受理されました。令和3年9月30日以降も横浜市と協議して休止となっています。

イ. お客様・ご家族・担当居宅介護支援事業所への周知と令和3年4月以降の通所介護事業所への移行対応について

お客様・ご家族・担当居宅介護支援事業所には、令和3年1月年明け早々、令和3年4月から長期事業休止になる旨とお詫びについて、通知させていただきました。

また、1月～2月にかけてお客様宅・担当居宅支援事業所を所長、副所長が個別訪問しお詫びし、担当居宅支援事業所ケアマネジャーには、お客様の4月からの新たな通所介護事業所等へのご利用継続がスムーズに行えるようお願いしました。令和3年1月4日時点でのお客様の登録実人数は、体調不良等や新型コロナウイルス感染症罹患を警戒し休まれている方も含めると30名の方がいらっしゃいましたが、令和3年4月末までには、殆どの方が他近隣通所事業所等に継続利用が決まりました。

令和4・5年度の動き

新型コロナウイルス感染症の拡大や周辺の通所介護事業所の状況を鑑み、引き続き事業を休止しております。

10 居宅介護支援

- (1) 令和5年度管理者の変更・人員変更はありませんでした。
 - ・常勤兼務1名、非常勤専従2名体制を継続しました。
- (2) 定期会議開催
 - ・利用者に関する情報又はサービス提供に当たっての留意事項に係る伝達を目的とした会議を定期的（概ね月1回以上）に開催しました。（別綴り：伝達会議議事録）
- (3) 営業日以外の対応について
 - ・営業日以外の対応については、ホーム事務室職員が担当職員に連絡をとり対応に努めました。
- (4) 研修計画に基づく研修受講について
 - ・介護支援専門員ごとに研修計画を作成して、それに基づき計画的に研修を受講し、介護支援専門員としての資質の向上に努めました。（別冊：令和5年度研修計画・報告書綴り）
- (5) 地域包括支援センターとの連携等について
 - ・いずみ野地域ケアプラザ、新橋地域ケアプラザ、岡津地域ケアプラザの地域包括支援センターと連携を図り、困難なケースの対応に当たりました。
 - ・定期的に訪問し顔なじみの関係に努めました。また、同法人が運営する泉区内居宅介護支援事業所と連携を図り、全体会議等を通じて連携に努めました。
- (6) 新型コロナウイルス感染症対応
 - ・ホーム内の感染症対策会議に出席し、対応マニュアルの共有に努めました。また、訪問時には、マスク着用、手指消毒ボトルを持参しその都度手指消毒に努め、お客様との会話には一定の距離を保つなど工夫して訪問活動を行いました。
- (7) 年間給付管理
 - ・常勤換算による給付件数を鑑みながら各担当の目標を設定し、お客様の受け入れを行いました。詳細は次ページに記載。
 - ・運営規定による減算による収入減を招かないように、毎月利用者数を集計し確認しました。また、誤請求防止に努めました。
 - ・介護支援専門員1人当たり、39件を上限とし給付管理を行いました。

令和5年度 居宅介護支援実績報告書

利用者数の推移(令和5年4月～令和6年3月)

□ 利用者数:毎月月末の利用者数(プランを作成している数)

令和4年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
要支援1	6	8	8	8	7	7	8	8	8	9	10	11	98
要支援2	18	19	19	19	19	21	21	22	23	22	26	26	255
計	24	27	27	27	26	28	29	30	31	31	36	37	353
要介護1	9	7	9	6	8	8	8	8	8	7	8	10	96
要介護2	21	23	23	23	24	24	25	26	26	28	26	25	294
要介護3	13	13	12	12	10	10	10	10	10	9	9	10	128
要介護4	6	5	5	7	8	8	7	7	7	7	7	6	80
要介護5	1	1	1	1	1	1	1	1	2	2	2	1	15
計	50	49	50	49	51	51	51	52	53	53	52	52	613

職員配置状況 (※4月～常勤1人 非常勤2人)

令和5年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
常勤換算	1.9	1.9	1.8	1.9	1.7	1.8	1.9	2	1.9	1.9	2	2	1.9

ケアマネ・一名当たりの件数(介予支援合計/2)+要介護合計/常勤換算

令和5年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
担当件数	31.1	31.3	33.9	31.3	36.2	34.7	33.2	32.0	34.7	34.5	33.3	33.3	29.4

認定調査実施件数

令和5年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
認定調査数	2	7	1	1	1	1	2	0	4	2	0	3	24

新規ケース件数

令和5年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
新規(介護)	0	0	1	1	1	2	1	1	1	1	1	2	12
新規(予防)	0	3	0	2	0	1	2	1	1	2	3	1	16
合計	0	3	1	3	1	3	3	2	2	3	4	3	28

廃止ケース件数

令和5年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
新規(介護)	1	2	0	1	1	0	3	0	0	0	0	4	12
新規(予防)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1
合計	1	2	0	1	1	0	3	0	0	1	0	4	13

1.1 事故防止に対する対応状況

「新橋ホーム事故発生時の対応、及び事故発生防止のための指針」に基づきお客様の安心や安全を確保するために、サービス提供にあたっての基本である適切なリスクマネジメント（危機管理）体制を構築し、施設サービスの質の向上を図ることを目的としました。

(1) 事故防止委員会

毎月開催し、「事故ゼロ」を目標に、発生したヒヤリハット・事故を集計・分析し、ホーム全体で共有することで全職員の事故防止の意識を高め、また、事故発生時には適切に対応できるよう、検討や改善に向けた取り組みを行いました。

(2) 安全で安心な介護技術の習得

職員は各種研修・講習会に積極的に参加し、その参加職員がホームにて他職員を対象に勉強会を開くことでホーム全体のスキルアップを図りました。

(3) 事故防止の基本活動

ア 介護ルールの確認

「当然誰もが守っているだろう」といった基本的なルールを全職員に徹底しました。

イ 適切な設備・用具の保守点検、建物、設備の構造の見直し、介護動作の見直しを行いました。

ウ お客様個別の危険把握と対処

お客様一人ひとりの状態を把握し、適切な事故防止対策を立てて再発防止に努めました。

(4) ヒヤリハット活動

事故防止の基本活動では捕捉できない危険を発見して対策を講じました。

(5) 事故発生時の対応

ア 事故対応マニュアルを作成し、どの職員でも同じように適切な対処・判断ができるようにしました。

イ お客様の心身の状態や生活環境、習慣などが正確に把握できるようにご家族との連絡を密にし、また利用中のお客様のご様子を報告することにより、ご家族様に事故の危険に対して理解が得られるように努めました。

ウ 事故発生時の自治体への報告の取り扱いについて：横浜市健康福祉局へ報告を行いました。

(6) 令和5年度事故・ヒヤリハット・コロナ感染報告状況

事故報告名	件数	事故内容等
横浜市事故報告書	28件	折・転倒・誤薬・外傷・与薬漏れ・転落・離設・内出
特別養護老人ホーム	16件	転落・誤薬・内出血・外傷・与薬漏れ・転倒
ショートステイ	12件	転落・誤薬・転倒・打撲・離設・骨折
養護老人ホーム	13件	骨折・転倒・外傷

内部事故報告

※横浜市提出分含む

特別養護老人ホーム	256件	転倒・外傷・紛失・打撲・転落・誤食・誤配膳
ショートステイ	66件	転倒・外傷・紛失・誤配膳・転落・荷物間違え・器物破損
養護老人ホーム	30件	骨折・転倒・外傷・打撲

ヒヤリハット事故報告

特別養護老人ホーム	166件	転倒・異食・打撲・転落・誤薬・紛失・器物破損
ショートステイ	57件	転倒・転落・紛失・誤薬・徘徊・器物破損
養護老人ホーム	23件	転倒・誤嚥・打撲

新型コロナウイルス感染報告

特養・ショートステイ	お客様	1件
	職員	13件
養護	お客様	2件
	職員	7件
事務所	職員	3件

1 2 苦情処理実績

法人の定める苦情解決規則に基づき体制を整備し、迅速で誠意ある対応に努めました。

(1) 〔苦情受付体制〕

苦情の適切な解決を図るために、次のものを設置しました。

- ア 総括責任者
- イ 苦情解決責任者
- ウ 苦情受付担当者
- エ サービス向上委員会
- オ 第三者委員

別紙4「社会福祉法人横浜市福祉サービス協会苦情解決規則」のとおり

(2) 令和5年度苦情・ご意見・ご要望実績

部署名	苦情件数	記録の有無	内容
特養	6件	有	②短期ご利用中の方への不適切な言動について
短期			③短期ご利用中の方への排泄介助方法について ④短期ご利用中の方への声掛けについて ⑤本入所の方への入浴介助方法について ⑥短期ご利用中の方への荷物の管理について
養護	1件	有	①本入所の方の行動及び対応についてのご意見
居介	0件	無	

13 防犯、防災、緊急時の対応状況

(1) 防犯について

事務室については、引き続き機械警備による防犯体制をとるとともに、建物の外周についても、養護老人ホームにおいて簡易のセンサーライト及び防犯カメラを設置して、防犯及び無断外出防止策として対応を図りました。

また、時間帯を問わず、職員・宿直員による施設外の定期巡回を行い、防犯体制を図るとともに、令和4年度には横浜市による外周の防犯カメラ等を設置しました。

(2) 防災について

ア 「消防計画」に基づき年2回（うち1回は夜間想定）の消防訓練を実施し、合わせて水消火器・2号消火栓を使用した消火訓練を実施しました。

イ 地域（新橋下自治会）との「消防応援協定」に基づき、毎年実施していた地域合同訓練は、新型コロナウイルス感染症流行により未実施ですが、下自治会防災委員への電話による応援要請訓練を行いました。

ウ 緊急時に職員・パート職員全員の連絡がスムーズに出来るよう、緊急連絡網を整備しました。

エ サービス提供継続計画（BCP）の見直しを行い、地震災害時の初動訓練を実施しました。

オ 法人内の災害時緊急連絡メール（安否確認2）を活用し、事業所内で緊急連絡メールの訓練を実施しました。

カ 横浜市 福祉避難所情報共有システムの訓練に参加しました。

キ 福祉避難所開設訓練を実施しました。

ク 月1回、消火器、消火栓、防火シャッター等の自主点検を実施しました。

(3) 緊急時の対応について

緊急対応マニュアルに沿い、誰でも迅速かつ適切な対応ができるよう、引き続き対応をとりました。

(4) 令和5年度防災訓練実施状況

区分	実施日	消防署立会い	地域住民の参加	記録
昼間想定	令和5年5月26日	有	有	有
夜間想定	令和5年10月31日	有	有	有

1.4 近隣の他機関（福祉・保健・医療機関等）との連携

(1) 福祉

ア 高齢者

- ・地域包括支援センターや他の高齢者施設とお客様へのサービス方法や工夫点（食事形態や入浴方法等）の情報交換をし、更なる質の向上に努めました。
- ・泉区作品展示を通して交流を図りました。
- ・居宅介護支援事業所を通して他高齢者施設在宅部サービスとの連携を深めました。
- ・公平中立の観点、お客様の権利擁護を常に意識し他機関と連携しました。

イ 障がい児者

- ・例年実施している障がい者施設・作業所団体による訪問パン販売や軽喫茶の交流は、新型コロナウイルス感染防止の為に中止しましたが、パンの購入は継続しました。
- ・障がい者雇用について、関係機関団体との連携を図りました。

(2) 保健

- ・異常の早期発見に努め保健医療機関と連携しました。
- ・ICFの考えに基づいてお客様の活動、参加が促進されるよう地域の保健機関や関係団体と連携しました。

(3) 医療機関

- ・協力病院、MSWをはじめ医療との連携を密にし医療と福祉が一体となりお客様本位のサービスがより一層できるよう努めました。
- ・医療的観点からアドバイスをして頂き、医療と福祉の良好な関係構築に努めました。
- ・入退院時の情報共有を密に行う事やカンファレンスの開催により、医療・福祉とサービスの継続性が図れるように努めました。

1.5 地域団体（町内会・地区社協等）との連携

(1) 地域福祉保健計画への参加

所長が新橋地区社協、緑園地区社協の理事として会議に出席し各団体での活動報告や地域課題の共有と取組について協議しました。

(2) 地域のイベントへの参加

泉区作品展にお客様の作品を出品し交流を図りました。

(3) ボランティア等の受け入れ

- ・傾聴ボランティアの受け入れをしましたが、施設内ではなくオンラインにて実施しました。
- ・洋品販売を施設内にて実施しました。

16 個人情報の保護の体制・取組実績

法人の個人情報保護規則及び情報セキュリティ規則をもとに、下記の体制で個人情報保護に努めました。

(1) 責任体制

- ア 情報セキュリティ担当者
- イ 情報セキュリティ責任者
- ウ 本部情報セキュリティ責任者
- エ 情報セキュリティ総括責任者

17 情報公開の取り組み

(1) 事業者情報公開

- ・介護保険事業者として義務化された情報の公表を、遅滞なく実施しました。

(2) ご意見箱の活用

- ・施設内にご意見箱を設置し、広くご意見・ご要望をお伺いしました。
- ・お寄せいただいたご意見・ご要望については、施設内掲示板等で回答とともに公表しました。

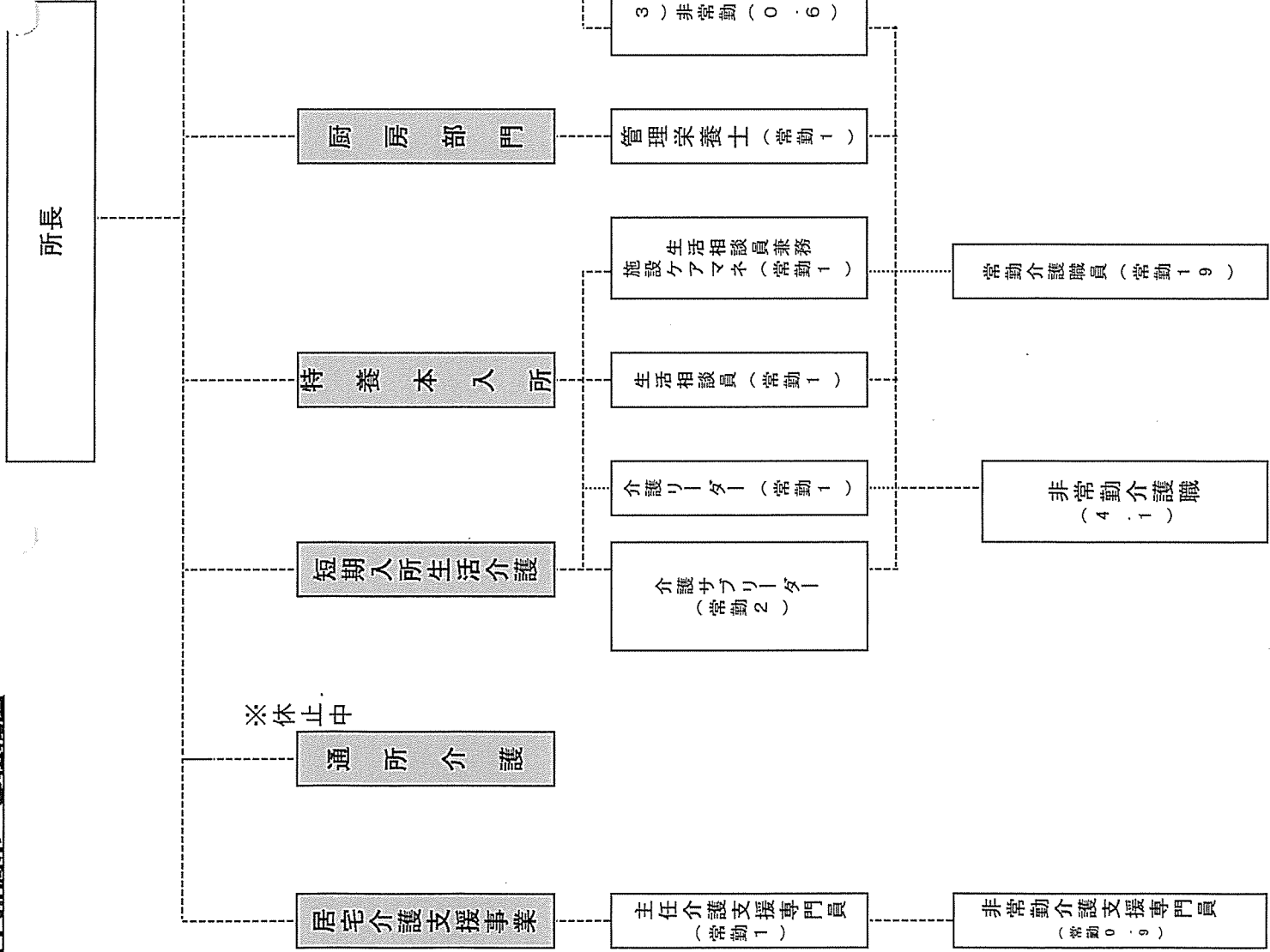
18 衛生管理への取り組み

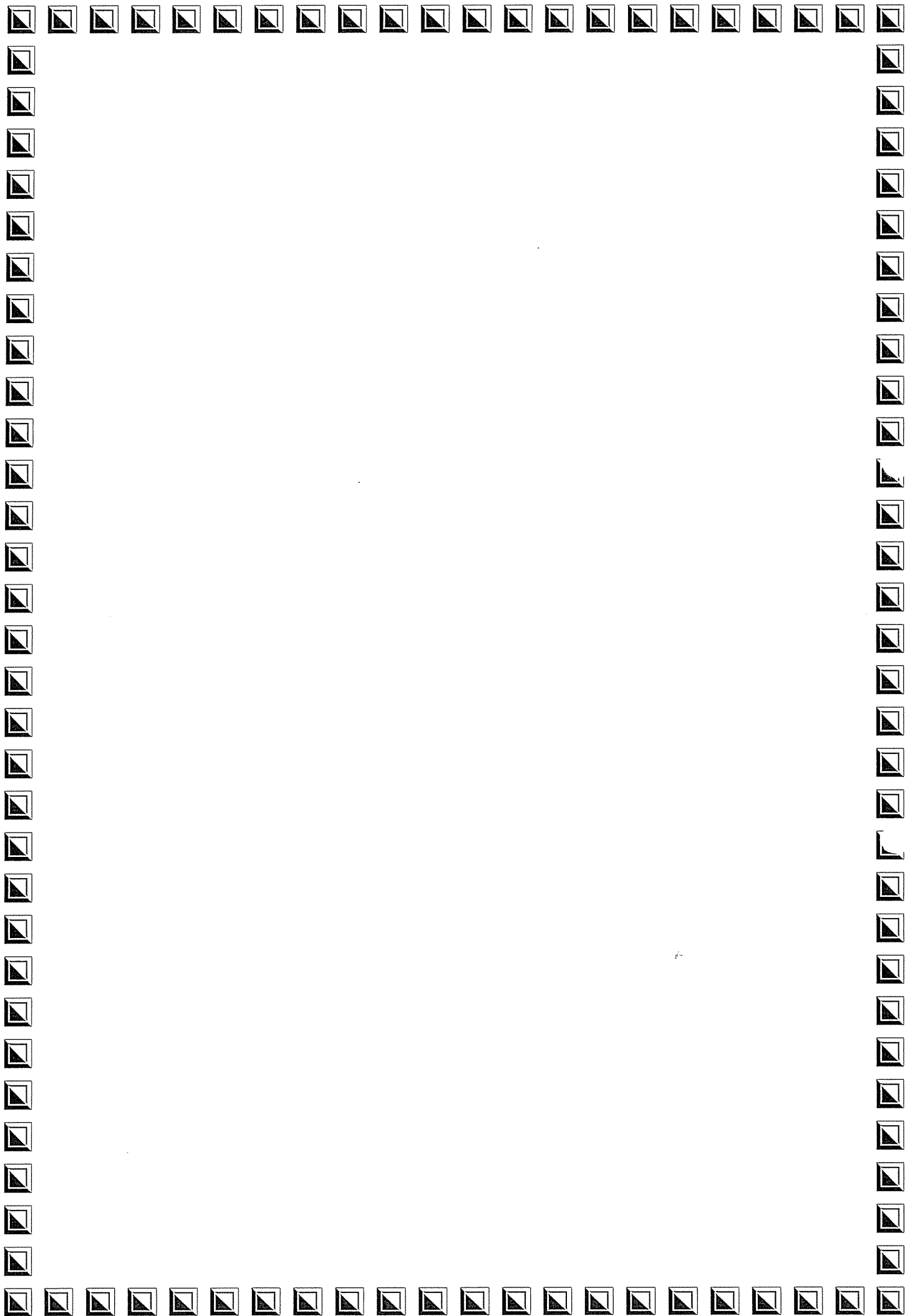
(1) 感染症予防

- ・毎月1回及び臨時に感染症対策委員会を開催し、感染症予防のシミュレーション研修やマニュアル改定を行いました。
- ・新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い、国、県、市からの通知の情報収集と職員での共有を図りました。また、臨時の感染症対策委員会を開催し、感染症予防対策を協議しました。手洗い、うがい、消毒の実施や職員の1日2回の検温実施、3密を避けるための工夫等に取り組みました。
- ・助成金を得て感染予防対策物品を購入し、備蓄品の在庫管理を徹底して行うとともに、日々の感染予防に努めました。

(2) 衛生委員会


- ・月1回衛生委員会を開催し、施設内の衛生管理に関する課題を検討しました。課題については産業医の助言指導を得て環境整備を行いました。





令和5年度 事業報告書

決算書

 社会福祉法人横浜市福祉サービス協会

横浜市新橋本一丁目

<http://www.hama-wel.or.jp/office.shinbashi>

介護老人福祉施設 新橋木一△拠点 資金収支計算書
(自)令和5年4月1日 (至)令和6年3月31日

法人名: 社会福祉法人 横浜市福祉サービス協会

(単位: 円)

勘定科目	予算(A)	決算(B)	差異(A)-(B)	備考
事業活動による収支				
収入				
介護保険事業収入	258,715,206	252,171,964	6,543,242	
施設介護料収入	167,761,167	162,602,710	5,158,457	
介護報酬収入	150,931,551	142,688,833	8,242,718	
利用者負担金収入(公費)	4,658,285	5,181,586	△ 523,301	
利用者負担金収入(一般)	12,171,331	14,732,291	△ 2,560,960	
居宅介護料収入	35,568,827	31,212,312	4,356,515	
(介護報酬収入)	32,012,547	27,184,650	4,827,897	
介護報酬収入	32,012,547	26,765,022	5,247,525	
介護予防報酬収入	0	419,628	△ 419,628	
(利用者負担金収入)	3,556,280	4,027,662	△ 471,382	
介護負担金収入(公費)	406,031	151,941	254,090	
介護負担金収入(一般)	3,150,249	3,875,721	△ 725,472	
居宅介護支援介護料収入	8,991,971	8,209,035	782,936	
居宅介護支援介護料収入	8,853,467	8,209,035	644,432	
介護予防支援介護料収入	138,504	0	138,504	
利用者等利用料収入	42,072,576	41,191,007	881,569	
施設サービス利用料収入	0	23,000	△ 23,000	
居宅介護サービス利用料収入	0	23,400	△ 23,400	
食費収入(公費)	0	0	0	
食費収入(一般)	20,771,163	20,240,157	531,006	
食費収入(特定)	5,604,420	4,574,069	1,030,351	
居住費収入(公費)	1,225,847	1,154,400	71,447	
居住費収入(一般)	9,899,301	10,595,434	△ 696,133	
居住費収入(特定)	4,571,845	4,580,547	△ 8,702	
その他の事業収入	4,320,665	8,956,900	△ 4,636,235	
補助金事業収入(公費)	2,620,000	7,233,000	△ 4,613,000	
受託事業収入(公費)	1,700,665	1,723,900	△ 23,235	
受託事業収入(一般)	0	0	0	
老人福祉事業収入	0	0	0	
借入金利息補助金収入	0	0	0	
経常経費寄附金収入	0	1,000	△ 1,000	
受取利息配当金収入	0	212	△ 212	
その他の収入	276,000	353,888	△ 77,888	
利用者等外給食費収入	276,000	260,000	16,000	
雑収入	0	93,888	△ 93,888	
流動資産評価益等による資金増加額	0	0	0	
事業活動収入計(1)	258,991,206	252,527,064	6,464,142	
支出				
人件費支出	184,388,093	195,093,781	△ 10,705,688	
職員給料支出	112,506,420	118,378,511	△ 5,872,091	
職員賞与支出	23,017,500	22,107,412	910,088	
非常勤職員給与支出	20,700,000	24,050,136	△ 3,350,136	
派遣職員費支出	543,403	581,769	△ 38,366	
退職給付支出	3,938,250	4,405,500	△ 467,250	
法定福利費支出	23,682,520	25,570,453	△ 1,887,933	
事業費支出	40,465,399	43,328,202	△ 2,862,803	
給食費支出	16,267,520	15,912,006	355,514	
介護用品費支出	4,128,826	4,684,259	△ 555,433	
保健衛生費支出	1,195,273	801,265	394,008	
教養娯楽費支出	224,095	137,725	86,370	
水道光熱費支出	14,636,382	17,271,157	△ 2,634,775	
消耗器具備品費支出	927,791	1,316,135	△ 388,344	
保険料支出	83,600	78,702	4,898	
貸借料支出	2,801,476	2,850,985	△ 49,509	
車両費支出	175,436	165,752	9,684	
雑支出	25,000	110,216	△ 85,216	
事務費支出	32,744,494	31,731,580	1,012,914	
福利厚生費支出	798,622	742,945	55,677	
職員被服費支出	60,000	25,437	34,563	
旅費交通費支出	65,000	96,686	△ 31,686	
研修研究費支出	411,000	280,621	130,379	
事務消耗品費支出	317,930	358,330	△ 40,400	
印刷製本費支出	210,000	164,323	45,677	
修繕費支出	3,400,000	1,179,032	2,220,968	
通信運搬費支出	782,206	1,092,595	△ 310,389	
広報費支出	26,000	2,300	23,700	
業務委託費支出	20,511,318	21,530,551	△ 1,019,233	
手数料支出	152,654	109,763	42,891	
保険料支出	153,783	169,975	△ 16,192	
貸借料支出	2,588,822	2,449,697	139,125	
租税公課支出	26,500	27,320	△ 820	
保守料支出	2,723,959	3,286,475	△ 562,516	
渉外費支出	36,000	70,280	△ 34,280	
諸会費支出	47,500	144,100	△ 96,600	
雑支出	433,200	1,150	432,050	
利用者負担軽減額	130,000	162,467	△ 32,467	
支払利息支出	0	0	0	
その他の支出	0	188,700	△ 188,700	
利用者等外給食費支出	0	188,700	△ 188,700	
流動資産評価損等による資金減少額	0	0	0	
事業活動支出計(2)	257,727,986	270,504,730	△ 12,776,744	
事業活動資金収支差額(3=1-2)	1,263,220	△ 17,977,666	19,240,886	
施設整備等による収支				
収入				
施設整備等補助金収入	6,243,600	14,911,000	△ 8,667,400	
施設整備等補助金収入	6,243,600	14,911,000	△ 8,667,400	
施設整備等寄附金収入	0	0	0	
設備資金借入金収入	0	0	0	
固定資産売却収入	0	0	0	
その他の施設整備等による収入	0	0	0	
施設整備等収入計(4)	6,243,600	14,911,000	△ 8,667,400	
支出				
設備資金借入金元金償還支出	0	0	0	
固定資産取得支出	6,243,600	14,911,600	△ 8,668,000	
建物取得支出	0	0	0	
器具及び備品取得支出	6,243,600	14,191,100	△ 7,947,500	
その他の固定資産取得支出	0	720,500	△ 720,500	
固定資産売却・廃棄支出	0	0	0	
ファイナンス・リース債務の返済支出	167,000	190,512	△ 23,512	
その他の施設整備等による支出	0	0	0	
施設整備等支出計(5)	6,410,600	15,102,112	△ 8,691,512	

介護老人福祉施設 新橋ホーム拠点 資金収支計算書
 (自)令和5年4月1日 (至)令和6年3月31日

法人名：社会福祉法人 横浜市福祉サービス協会

(単位：円)

勘定科目	予算(A)	決算(B)	差異(A)-(B)	備考
施設整備等資金収支差額(6-4-5)	△ 167,000	△ 191,112	24,112	
その他の活動による収支				
収入				
積立資産取崩収入	2,400,000	230,120	2,169,880	
修繕積立資産取崩収入	2,400,000	230,120	2,169,880	
備品購入積立資産取崩収入	0	0	0	
拠点区分間繰入金収入	0	0	0	
その他の活動による収入	0	0	0	
その他の活動収入計(7)	2,400,000	230,120	2,169,880	
支出				
長期運営資金借入金元金償還支出	0	0	0	
長期貸付金支出	0	0	0	
積立資産支出	2,665,200	935,200	1,730,000	
修繕積立資産支出	935,200	935,200	0	
備品等購入積立資産支出	1,730,000	0	1,730,000	
拠点区分間繰入金支出	831,020	0	831,020	
その他の活動による支出	0	0	0	
その他の活動支出計(8)	3,496,220	935,200	2,561,020	
その他の活動資金収支差額(9=7-8)	△ 1,096,220	△ 705,080	△ 391,140	
予備費支出(10)	0	0	0	
当期資金収支差額合計(11=3+6+9-10)	0	△ 18,873,858	18,873,858	
前期末支払資金残高(12)	17,462,251	14,491,432	2,970,819	
当期末支払資金残高(11+12)	17,462,251	△ 4,382,426	21,844,677	

介護老人福祉施設 新橋ホ一ム拠点 事業活動計算書
(自)令和5年4月1日 (至)令和6年3月31日

法人名：社会福祉法人 横浜市福祉サービス協会

(単位：円)

勘定科目	当年度決算(A)	前年度決算(B)	増減(A)-(B)
サービス活動増減の部			
収 益			
介護保険事業収益	252,171,964	249,843,286	2,328,678
施設介護料収益	162,602,710	160,858,198	1,744,512
介護報酬収益	142,688,833	140,791,615	1,897,218
利用者負担金収益(公費)	5,181,586	5,739,444	△ 557,858
利用者負担金収益(一般)	14,732,291	14,327,139	405,152
居宅介護料収益	31,212,312	27,615,766	3,596,546
(介護報酬収益)	27,184,650	24,403,103	2,781,547
介護報酬収益	26,765,022	24,150,502	2,614,520
介護予防報酬収益	419,628	252,601	167,027
(利用者負担金収益)	4,027,662	3,212,663	814,999
介護負担金収益(公費)	151,941	320,902	△ 168,961
介護負担金収益(一般)	3,875,721	2,862,591	1,013,130
介護予防負担金収益(一般)	0	29,170	△ 29,170
居宅介護支援介護料収益	8,209,035	7,821,169	387,866
居宅介護支援介護料収益	8,209,035	7,821,169	387,866
利用者等利用料収益	41,191,007	39,608,960	1,582,047
施設サービス利用料収益	23,000	44,000	△ 21,000
居宅介護サービス利用料収益	23,400	18,200	5,200
食費収益(公費)	0	4,580	△ 4,580
食費収益(一般)	20,240,157	18,443,800	1,796,357
食費収益(特定)	4,574,069	5,169,360	△ 595,291
居住費収益(公費)	1,154,400	1,281,196	△ 126,796
居住費収益(一般)	10,595,434	9,805,709	789,725
居住費収益(特定)	4,580,547	4,842,115	△ 261,568
その他の事業収益	8,956,900	13,939,193	△ 4,982,293
補助金事業収益(公費)	7,233,000	12,095,708	△ 4,862,708
受託事業収益(公費)	1,723,900	1,843,485	△ 119,585
老人福祉事業収益	0	0	0
経常経費寄附金収益	1,000	0	1,000
その他の収益	0	0	0
サービス活動収益計(1)	252,172,964	249,843,286	2,329,678
費 用			
人件費	195,218,779	183,881,466	11,337,313
職員給料	118,378,511	109,926,849	8,451,662
職員賞与	11,021,212	10,672,350	348,862
賞与引当金繰入	13,024,457	12,899,459	124,998
非常勤職員給与	24,050,136	23,163,274	886,862
派遣職員費	581,769	1,699,803	△ 1,118,034
退職給付費用	4,405,500	4,049,500	356,000
法定福利費	23,757,194	21,470,231	2,286,963
事業費	43,328,202	40,891,186	2,437,016
給食費	15,912,006	15,007,097	904,909
介護用品費	4,684,259	4,009,846	674,413
保健衛生費	801,265	1,177,072	△ 375,807
教養娯楽費	137,725	138,922	△ 1,197
水道光熱費	17,271,157	15,974,963	1,296,194
消耗器具備品費	1,316,135	1,520,275	△ 204,140
保険料	78,702	98,376	△ 19,674
賃借料	2,850,985	2,799,604	51,381
車輛費	165,752	160,939	4,813
雑費	110,216	4,092	106,124
事務費	31,731,580	29,720,282	2,011,298
福利厚生費	742,945	676,015	66,930
職員被服費	25,437	61,519	△ 36,082
旅費交通費	96,686	94,536	2,150
研修研究費	280,621	561,879	△ 281,258
事務消耗品費	358,330	293,474	64,856
印刷製本費	164,323	201,577	△ 37,254
修繕費	1,179,032	2,459,765	△ 1,280,733
通信運搬費	1,092,595	1,047,805	44,790
広報費	2,300	13,750	△ 11,450
業務委託費	21,530,551	18,219,753	3,310,798
手数料	109,763	108,237	1,526
保険料	169,975	244,782	△ 74,807
賃借料	2,449,697	2,598,252	△ 148,555
租税公課	27,320	24,350	2,970
保守料	3,286,475	2,981,288	305,187
渉外費	70,280	0	70,280
諸会費	144,100	126,600	17,500
雑費	1,150	6,700	△ 5,550
利用者負担軽減額	162,467	129,838	32,629
減価償却費	1,967,009	1,827,905	139,104
国庫補助金等特別積立金取崩額	△ 255,522	△ 70,508	△ 185,014
徴収不能額	0	0	0
徴収不能引当金繰入	0	0	0
その他の費用	0	0	0
サービス活動費用計(2)	272,152,515	256,380,169	15,772,346
サービス活動増減差額(3=1-2)	△ 19,979,551	△ 6,536,883	△ 13,442,668

介護老人福祉施設 新橋ホーム拠点 事業活動計算書
(自)令和5年4月1日 (至)令和6年3月31日

法人名：社会福祉法人 横浜市福祉サービス協会

(単位：円)

勘定科目	当年度決算(A)	前年度決算(B)	増減(A)-(B)
サービス活動外増減の部			
収 益			
借入金利息補助金収益	0	0	0
受取利息配当金収益	212	257	△ 45
その他のサービス活動外収益	353,888	3,876,087	△ 3,522,199
利用者等外給食収益	260,000	275,200	△ 15,200
雑収益	93,888	3,600,887	△ 3,506,999
サービス活動外収益計(4)	354,100	3,876,344	△ 3,522,244
費 用			
支払利息	0	0	0
その他のサービス活動外費用	188,700	206,400	△ 17,700
利用者等外給食費	188,700	206,400	△ 17,700
サービス活動外費用計(5)	188,700	206,400	△ 17,700
サービス活動外増減差額(6=4-5)	165,400	3,669,944	△ 3,504,544
経常増減差額(7=3+6)	△ 19,814,151	△ 2,866,939	△ 16,947,212
特別増減の部			
収 益			
施設整備等補助金収益	14,911,000	0	14,911,000
施設整備等補助金収益	14,911,000	0	14,911,000
施設整備等寄附金収益	0	0	0
固定資産受贈額	0	0	0
固定資産売却益	0	0	0
拠点区分間繰入金収益	0	0	0
拠点区分間固定資産移管収益	0	0	0
その他の特別収益	0	0	0
特別収益計(8)	14,911,000	0	14,911,000
費 用			
基本金組入額	0	0	0
資産評価損	0	0	0
固定資産売却損・処分損	2	1	1
車輦運搬具売却損・処分損	1	0	1
器具及び備品売却損・処分損	1	1	0
国庫補助金等特別積立金取崩額(除却等)	0	0	0
国庫補助金等特別積立金積立額	14,911,000	0	14,911,000
災害損失	0	0	0
拠点区分間繰入金費用	0	0	0
拠点区分間固定資産移管費用	0	0	0
その他の特別損失	0	0	0
特別費用計(9)	14,911,002	1	14,911,001
特別増減差額(10=8-9)	△ 2	△ 1	△ 1
当期活動増減差額(11=7+10)	△ 19,814,153	△ 2,866,940	△ 16,947,213
繰越活動増減差額の部			
前期繰越活動増減差額(12)	9,016,288	6,724,848	2,291,440
当期末繰越活動増減差額(13=11+12)	△ 10,797,865	3,857,908	△ 14,655,773
基本金取崩額(14)	0	0	0
その他の積立金取崩額(15)	230,120	7,823,580	△ 7,593,460
修繕積立金取崩額	230,120	5,703,000	△ 5,472,880
備品等購入積立金取崩額	0	2,120,580	△ 2,120,580
その他の積立金積立額(16)	935,200	2,665,200	△ 1,730,000
修繕積立金積立額	935,200	935,200	0
備品等購入積立金積立額	0	1,730,000	△ 1,730,000
次期繰越活動増減差額(17=13+14+15-16)	△ 11,502,945	9,016,288	△ 20,519,233

介護老人福祉施設 新橋ホーム拠点 貸借対照表
令和6年3月31日現在

法人名：社会福祉法人 横浜市福祉サービス協会

(単位：円)

	資産の部			負債の部			
	当年度末	前年度末	増減	当年度末	前年度末	増減	
流動資産	59,407,308	51,413,296	7,994,012	流動負債	76,833,410	50,031,054	26,802,356
現金預金	1,878,320	9,889,113	△ 8,010,793	事業未払金	5,543,922	4,689,895	854,027
事業未収金	41,003,461	39,173,206	1,830,255	その他の未払金	0	0	0
未収金	0	0	0	1年以内返済予定リース債務	0	190,512	△ 190,512
未収補助金	16,084,000	2,218,000	13,866,000	1年以内支払予定長期未払金	0	0	0
貯蔵品	0	0	0	未払費用	2,294,840	1,919,164	375,676
立替金	410,504	150,696	259,808	預り金	0	0	0
前払金	0	0	0	職員預り金	0	0	0
前払費用	49,742	0	49,742	前受金	0	0	0
事業区分間貸付金	0	0	0	事業区分間借入金	0	0	0
拠点区分間貸付金	0	0	0	拠点区分間借入金	55,970,191	30,332,024	25,638,167
仮払金	0	0	0	仮受金	0	0	0
その他の流動資産	500	1,500	△ 1,000	貸与引当金	13,024,457	12,899,459	124,998
徴収不能引当金	△ 19,219	△ 19,219	0	その他の流動負債	0	0	0
固定資産	41,143,538	27,493,869	13,649,669	固定負債	0	0	0
基本財産	0	0	0	リース債務	0	0	0
その他の固定資産	41,143,538	27,493,869	13,649,669	長期未払金	0	0	0
建物	1,030,482	1,151,715	△ 121,233	その他の固定負債	0	0	0
構築物	212,393	231,982	△ 19,589	負債の部合計	76,833,410	50,031,054	26,802,356
機械及び装置	0	0	0	純資産の部			
車両運搬具	0	1	△ 1	国庫補助金等特別積立金	14,815,405	159,927	14,655,478
器具及び備品	17,744,835	4,864,695	12,880,140	その他の積立金	20,404,976	19,699,896	705,080
建設仮勘定	0	0	0	修繕積立金	6,259,574	5,554,494	705,080
有形リース資産	0	190,512	△ 190,512	備品購入積立金	14,145,402	14,145,402	0
権利	0	0	0	次期繰越活動増減差額	11,502,945	9,016,288	2,019,233
ソフトウェア	1,750,852	1,355,068	395,784	(うち当期活動増減差額)	△ 19,814,153	△ 2,866,940	△ 16,947,213
無形リース資産	0	0	0				
退職給付引当資産	0	0	0				
修繕積立資産	6,259,574	5,554,494	705,080				
備品購入積立資産	14,145,402	14,145,402	0				
差入保証金	0	0	0				
長期前払費用	0	0	0				
その他の固定資産	0	0	0				
資産の部合計	100,550,846	78,907,165	21,643,681	純資産の部合計	23,717,436	28,876,111	5,158,675
				負債及び純資産の部合計	100,550,846	78,907,165	21,643,681

養護老人ホーム 新橋ホーム拠点 資金収支計算書
(自)令和5年4月1日 (至)令和6年3月31日

法人名：社会福祉法人 横浜市福祉サービス協会

(単位：円)

勘定科目	予算(A)	決算(B)	差異(A)-(B)	備考
事業活動による収支				
収入				
介護保険事業収入	300,000	0	300,000	
その他の事業収入	300,000	0	300,000	
補助金事業収入(公費)	300,000	0	300,000	
老人福祉事業収入	172,895,471	172,525,661	369,810	
措置事業収入	172,895,471	172,484,395	411,076	
事務費収入	109,278,192	105,073,201	4,204,991	
事業費収入	39,047,039	38,459,418	587,621	
その他の事業収入	24,570,240	28,951,776	4,381,536	
運営事業収入	0	41,266	41,266	
その他の利用料収入	0	41,266	41,266	
借入金利息補助金収入	0	0	0	
経常経費寄附金収入	0	27,080	27,080	
受取利息配当金収入	0	2,567	2,567	
その他の収入	324,000	355,955	31,955	
利用者等外給食費収入	324,000	346,800	22,800	
雑収入	0	9,155	9,155	
流動資産評価益等による資金増加額	0	0	0	
事業活動収入計(1)	173,519,471	172,911,263	608,208	
支出				
人件費支出	91,712,108	87,151,301	4,560,807	
職員給料支出	49,141,344	45,592,077	3,549,267	
職員賞与支出	10,345,500	10,337,113	8,387	
非常勤職員給与支出	19,230,000	19,367,365	137,365	
派遣職員費支出	815,104	872,636	57,532	
退職給付支出	1,802,250	578,500	1,223,750	
法定福利費支出	10,377,910	10,403,610	25,700	
事業費支出	43,587,358	47,881,175	4,293,817	
給食費支出	14,624,496	14,577,974	46,522	
介護用品費支出	40,000	5,500	34,500	
保健衛生費支出	1,731,149	1,435,035	296,114	
教養娯楽費支出	224,095	380,159	156,064	
本人支給金支出	2,860,000	2,774,127	85,873	
水道光熱費支出	21,954,570	25,906,707	3,952,137	
消耗器具備品費支出	479,302	1,080,133	600,831	
保険料支出	83,600	58,303	25,297	
賃借料支出	1,370,970	1,474,278	103,308	
車両費支出	194,176	187,031	7,145	
雑支出	25,000	1,928	23,072	
事務費支出	37,210,150	35,047,907	2,162,243	
福利厚生費支出	432,098	400,212	31,886	
職員被服費支出	90,000	38,154	51,846	
旅費交通費支出	90,000	24,646	65,354	
研修研究費支出	20,000	861	19,139	
事務消耗品費支出	350,900	397,559	46,659	
印刷製本費支出	210,000	172,238	37,762	
修繕費支出	1,300,000	1,103,786	196,214	
通信運搬費支出	1,008,126	683,812	324,314	
広報費支出	26,000	3,450	22,550	
業務委託費支出	27,058,188	25,208,879	1,849,309	
手数料支出	204,980	200,475	4,505	
保険料支出	90,165	123,402	33,237	
賃借料支出	1,983,393	1,910,054	73,339	
租税公課支出	18,500	35,434	16,934	
保守料支出	3,777,700	4,329,251	551,551	
渉外費支出	54,000	149,044	95,044	
諸会費支出	68,400	120,900	52,500	
雑支出	427,700	145,750	281,950	
利用者負担軽減額	0	0	0	
支払利息支出	0	0	0	
その他の支出	0	264,600	264,600	
利用者等外給食費支出	0	264,600	264,600	
流動資産評価損等による資金減少額	0	0	0	
事業活動支出計(2)	172,509,616	170,344,983	2,164,633	
事業活動資金収支差額(3=1-2)	1,009,855	2,566,280	1,556,425	
施設整備等による収支				
収入				
施設整備等補助金収入	0	0	0	
施設整備等補助金収入	0	0	0	
施設整備等寄附金収入	0	0	0	
設備資金借入金収入	0	0	0	
固定資産売却収入	0	0	0	
その他の施設整備等による収入	0	0	0	
施設整備等収入計(4)	0	0	0	
支出				
設備資金借入金元金償還支出	0	0	0	
固定資産取得支出	0	0	0	
建物取得支出	0	0	0	
その他の固定資産取得支出	0	0	0	
固定資産除却・廃棄支出	0	0	0	
ファイナンス・リース債務の返済支出	240,000	285,768	45,768	
その他の施設整備等による支出	0	0	0	
施設整備等支出計(5)	240,000	285,768	45,768	
施設整備等資金収支差額(6=4-5)	△ 240,000	△ 285,768	45,768	
その他の活動による収支				
収入				
積立資産取崩収入	1,000,000	345,180	654,820	
施設整備等積立資産取崩収入	1,000,000	345,180	654,820	
修繕積立資産取崩収入	0	0	0	
拠点区分間繰入金収入	0	0	0	
その他の活動による収入	0	0	0	
その他の活動収入計(7)	1,000,000	345,180	654,820	
支出				
長期運営資金借入金元金償還支出	0	0	0	
長期貸付金支出	0	0	0	
積立資産支出	1,402,800	1,402,800	0	
施設整備等積立資産支出	0	0	0	
修繕積立資産支出	1,402,800	1,402,800	0	
拠点区分間繰入金支出	0	0	0	
その他の活動による支出	0	0	0	
その他の活動支出計(8)	1,402,800	1,402,800	0	
その他の活動資金収支差額(9=7-8)	△ 402,800	△ 1,057,620	654,820	

養護老人ホーム 新橋ホーム拠点 資金収支計算書
(自)令和5年4月1日 (至)令和6年3月31日

法人名：社会福祉法人 横浜市福祉サービス協会

(単位：円)

勘定科目	予算(A)	決算(B)	差異(A)-(B)	備考
予備費支出(10)	0		0	
当期資金収支差額合計(11=3+6+9-10)	367,055	1,222,892	△ 855,837	
前期末支払資金残高(12)	36,844,913	41,234,152	△ 4,389,239	
当期末支払資金残高(11+12)	37,211,968	42,457,044	△ 5,245,076	

養護老人ホーム 新橋ホーム拠点 事業活動計算書
(自)令和5年4月1日 (至)令和6年3月31日

法人名：社会福祉法人 横浜市福祉サービス協会

(単位：円)

勘定科目	当年度決算(A)	前年度決算(B)	増減(A)-(B)
サービス活動増減の部			
収 益			
介護保険事業収益	0	0	0
老人福祉事業収益	172,525,661	169,795,615	2,730,046
措置事業収益	172,484,395	169,795,615	2,688,780
事務費収益	105,073,201	104,260,814	812,387
事業費収益	38,459,418	38,207,900	251,518
その他の利用料収益	0	27,800	27,800
その他の事業収益	28,951,776	27,299,101	1,652,675
運営事業収益	41,266	0	41,266
その他の利用料収益	41,266	0	41,266
経常経費寄附金収益	27,080	0	27,080
その他の収益	0	0	0
サービス活動収益計(1)	172,552,741	169,795,615	2,757,126
費 用			
人件費	87,071,493	86,046,119	1,025,374
職員給料	45,592,077	46,539,200	△ 947,123
職員賞与	5,255,713	5,104,052	151,661
賞与引当金繰入	5,832,706	5,912,514	△ 79,808
非常勤職員給与	19,367,365	17,660,810	1,706,555
派遣職員費	872,636	808,584	64,052
退職給付費用	578,500	578,500	0
法定福利費	9,572,496	9,442,459	130,037
事業費	47,881,175	45,707,633	2,173,542
給食費	14,577,974	14,530,703	47,271
介護用品費	5,500	30,624	△ 25,124
保健衛生費	1,435,035	1,925,484	△ 490,449
教養娯楽費	380,159	414,332	△ 34,173
本人支給金	2,774,127	1,995,407	778,720
水道光熱費	25,906,707	23,962,412	1,944,295
消耗器具備品費	1,080,133	1,144,995	△ 64,862
保険料	58,303	68,824	△ 10,521
賃借料	1,474,278	1,440,402	33,876
車両費	187,031	186,567	464
雑費	1,928	7,883	△ 5,955
事務費	35,047,907	36,340,327	△ 1,292,420
福利厚生費	400,212	361,436	38,776
職員被服費	38,154	55,598	△ 17,444
旅費交通費	24,646	38,440	△ 13,794
研修研究費	861	46,209	△ 45,348
事務消耗品費	397,559	384,512	13,047
印刷製本費	172,238	201,573	△ 29,335
修繕費	1,103,786	3,993,965	△ 2,890,179
通信運搬費	683,812	720,328	△ 36,516
広報費	3,450	13,750	△ 10,300
業務委託費	25,208,879	24,118,388	1,090,491
手数料	200,475	193,730	6,745
保険料	123,402	192,173	△ 68,771
賃借料	1,910,054	1,941,055	△ 31,001
租税公課	35,434	31,160	4,274
保守料	4,329,251	3,738,934	590,317
渉外費	149,044	2,926	146,118
諸会費	120,900	138,400	△ 17,500
雑費	145,750	167,750	△ 22,000
利用者負担軽減額	0	0	0
減価償却費	2,073,584	2,126,068	△ 52,484
国庫補助金等特別積立金取崩額	△ 11,138	△ 76,583	65,445
徴収不能額	0	0	0
徴収不能引当金繰入	0	0	0
その他の費用	0	0	0
サービス活動費用計(2)	172,063,021	170,143,564	1,919,457
サービス活動増減差額(3=1-2)	489,720	△ 347,949	837,669
サービス活動外増減の部			
収 益			
借入金利息補助金収益	0	0	0
受取利息配当金収益	2,567	2,492	75
その他のサービス活動外収益	355,955	1,582,502	△ 1,226,547
受入研修費収益	0	28,800	△ 28,800
利用者等外給食収益	346,800	340,400	6,400
雑収益	9,155	1,213,302	△ 1,204,147
サービス活動外収益計(4)	358,522	1,584,994	△ 1,226,472
費 用			
支払利息	0	0	0
その他のサービス活動外費用	264,600	255,300	9,300
利用者等外給食費	264,600	255,300	9,300
サービス活動外費用計(5)	264,600	255,300	9,300
サービス活動外増減差額(6=4-5)	93,922	1,329,694	△ 1,235,772
経常増減差額(7=3+6)	583,642	981,745	△ 398,103
特別増減の部			
収 益			

養護老人ホーム 新橋ホーム拠点 事業活動計算書
(自)令和5年4月1日 (至)令和6年3月31日

法人名：社会福祉法人 横浜市福祉サービス協会

(単位：円)

勘定科目	当年度決算(A)	前年度決算(B)	増減(A)-(B)
施設整備等補助金収益	0	0	0
施設整備等寄附金収益	0	0	0
固定資産受贈額	0	0	0
固定資産売却益	0	0	0
拠点区分間繰入金収益	0	0	0
拠点区分間固定資産移管収益	0	0	0
その他の特別収益	0	0	0
特別収益計(8)	0	0	0
費用			
基本金組入額	0	0	0
資産評価損	0	0	0
固定資産売却損・処分損	0	0	0
国庫補助金等特別積立金取崩額(除却等)	0	0	0
国庫補助金等特別積立金積立額	0	0	0
災害損失	0	0	0
拠点区分間繰入金費用	0	0	0
拠点区分間固定資産移管費用	0	0	0
その他の特別損失	0	0	0
特別費用計(9)	0	0	0
特別増減差額(10=8-9)	0	0	0
当期活動増減差額(11=7+10)	583,642	981,745	△ 398,103
繰越活動増減差額の部			
前期繰越活動増減差額(12)	43,740,194	32,588,378	11,151,816
当期末繰越活動増減差額(13=11+12)	44,323,836	33,570,123	10,753,713
基本金取崩額(14)	0	0	0
その他の積立金取崩額(15)	345,180	11,572,871	△ 11,227,691
施設整備等積立金取崩額	345,180	9,747,871	△ 9,402,691
修繕積立金取崩額	0	1,825,000	△ 1,825,000
その他の積立金積立額(16)	1,402,800	1,402,800	0
修繕積立金積立額	1,402,800	1,402,800	0
次期繰越活動増減差額(17=13+14+15-16)	43,266,216	43,740,194	△ 473,978

養護老人ホーム 新橋ホーム拠点 貸借対照表
令和 6年 3月31日現在

第3号第4様式

法人名：社会福祉法人 横浜福祉サービス協会

(単位：円)

	資産の部			負債の部			
	当年度末	前年度末	増減	当年度末	前年度末	増減	
流動資産	50,398,656	49,358,059	1,040,597	流動負債	13,774,318	14,322,189	△ 547,871
現金預金	49,249,133	45,211,879	4,037,254	事業未払金	5,987,990	6,423,660	△ 435,670
事業未収金	1,058,910	874,180	184,730	その他の未払金	0	0	0
未収金	0	0	0	1年以内返済予定リース債務	0	285,768	△ 285,768
未収補助金	0	3,256,000	△ 3,256,000	1年以内支払予定長期未払金	0	0	0
貯蔵品	0	0	0	未払費用	1,700,371	1,700,047	324
立替金	0	0	0	預り金	253,251	0	253,251
前払金	0	0	0	役員預り金	0	0	0
前払費用	74,613	0	74,613	前受金	0	0	0
事業区分間貸付金	0	0	0	事業区分間借入金	0	0	0
拠点区分間貸付金	0	0	0	拠点区分間借入金	0	0	0
仮払金	0	0	0	仮受金	0	0	0
その他の流動資産	16,000	16,000	0	貸与引当金	5,832,706	5,912,514	△ 79,808
徴収不能引当金	0	0	0	その他の流動負債	0	0	0
固定資産	139,776,999	140,792,963	△ 1,015,964	固定負債	0	0	0
基本財産	0	0	0	リース債務	0	0	0
その他の固定資産	139,776,999	140,792,963	△ 1,015,964	長期未払金	0	0	0
建物	1,030,482	1,151,715	△ 121,233	その他の固定負債	0	0	0
構築物	237,844	259,780	△ 21,936	負債の部合計	13,774,318	14,322,189	△ 547,871
機械及び装置	0	0	0	純資産の部			
車両運搬具	0	0	0	国庫補助金等特別積立金	30,739	41,877	△ 11,138
器具及び備品	3,895,751	5,087,836	△ 1,192,085	その他の積立金	133,104,382	132,046,762	1,057,620
建設仮勘定	0	0	0	人件費積立金	24,607,426	24,607,426	0
有形リース資産	0	285,768	△ 285,768	施設整備等積立金	102,853,630	103,198,810	△ 345,180
権利	0	0	0	修繕積立金	5,643,326	4,240,526	1,402,800
ソフトウェア	1,508,540	1,961,102	△ 452,562	備品購入積立金	0	0	0
無形リース資産	0	0	0	次期繰越活動増減差額	43,266,216	43,740,194	△ 473,978
人件費積立資産	24,607,426	24,607,426	0	(うち当期活動増減差額)	583,642	981,745	△ 398,103
施設整備等積立資産	102,853,630	103,198,810	△ 345,180				
財政調整基金積立資産	0	0	0				
修繕積立資産	5,643,326	4,240,526	1,402,800				
備品購入積立資産	0	0	0				
差入保証金	0	0	0				
長期前払費用	0	0	0				
その他の固定資産	0	0	0				
資産の部合計	190,175,655	190,151,022	24,633	純資産の部合計	176,401,337	175,828,833	572,504
				負債及び純資産の部合計	190,175,655	190,151,022	24,633